

富永ノ報告ニ拠レバ輸出許可書ハ発給ノ運ト成リ居レルモ
仏国出先軍憲ノ本件約定品製作工場ニ対スル間接的妨害ノ
為メ工作全然不能トナリ居ル趣ナルトコロ既ニ「ライセン
ス」ノ発給ヲ為ス以上其製造ヲ可能ナラシムルハ仏国側当
然ノ責務ナルヘキニ付貴官ハ(イ)先ヅ「ライセン」ヲ現実
ニ発給セシメタル上(ロ)再応仏国政府ニ対シ右ノ条理ニヨリ
至急出先軍憲ニ対シ鈔クトモ満鉄約定品ニ対スル工作ヲ不
可能ナラシメザル様訓令方御交渉ノ上結果回電アリ度シ満
鉄ヨリモ在本邦仏国大使ヘ何分ノ斡旋願出ノ筈

一八四 八月十八日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ウェルド鉄管輸出許可ハ先例トナラザル旨ベ
ルギー外相通知ノ件

第一八〇号 (八月十九日接受)

往電第一七一号ニ関シ

八月十七日付外務大臣ヨリ本使宛東京電燈会社所用 *luyach
belle* ハ輸出方許可セラレタル旨監督委員会ヨリ通報アリ
タル趣申越スト同時ニ右ハ例外トシテ許可シタルモノニカ
カリ先例ト見ルヘカラサル旨付言シアリタリ後段御含ミ迄
在仏大使ヘ暗送セリ

一八五 九月十九日 伊集院外務大臣ヨリ
在ベルギー国安達大使宛(電報)

藤山氏奏上問題ニ関シ鉄道省ニ確認シタル旨

ヲ回答ノ件

第七九号
貴電第一七六号ニ関シ

鉄道省ニ確メタルニ軌条五千屯ノ注文ヲナシタルモ右ハ例
年海外注文ノ一部ニシテ電化速成又ハ広軌トナス為ニ非ル
由ナリ

事項四 国際連盟理事会(第二十三回—第二十六回)関係

一八六 一月十九日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

賠償問題ヲ次回理事会ノ議題トスベキヤ否ヤ

ニツキ請訓ノ件

第一五号 (一月二十日接受)

連盟理事会議長タル在英伯拉西爾大使「ダガマ」氏ハ十九
日事務総長「ドラモンド」ヲ經由シテ大要客年九月二十七
日付連盟總會ノ軍縮ニ関スル決議第十六号ニ鑑ミ今回ノ理
事会ニ際シ賠償問題ヲ右理事会ノ議事日程ニ上スベキヤニ
関シ予メ各理事間ニ個人ノ資格ヲ以テ意見ヲ交換スルコト
有益ナリトノ説ヲ発表スルモノアル処議長モ亦右意見ノ交
換ヲ有益ナリト認ムトノ電報ヲ送付シ来レリ

惟フニ右ノ説ヲ為スモノハ例ノ「ブランチング」ナルベク
「ダガマ」大使ハ本国政府ノ訓令ヲ受ケタル上各理事ニ右
ノ電報ヲ発シタルモノナルベケレバ同政府モ亦「ブランチ
ング」ト同説ナルニ相違ナカルベシ英國側ニ於テ「ロード
・バルフォア」退メテ何人ノニ代ルベキヤ明カナラザレド
モ各国理事ノ本件ニ対スル態度ハ其ノ解決ニ最重要ナル影

響ヲ与フベク伊国ニテハ旧首相「サランドラ」今回理事ニ
新任セラレタルト首相「ムッソリニ」ノ奇抜ナル遣口トニ
依リ大ニ注目ニ値スベキモ要スルニ現時欧州ニ於テ最人心
ヲ聳動シツツアル本問題ヲ今回理事会ノ正式議題ノ一ト為
シ以テ本件ノ解決ヲ試ムルコトハ少クトモ仏白両委員ノ断
乎タル反抗ヲ招クベキハ予測シ難カラズ事態輕カラザルモ
ノト認メラルル処右ニ関シ何分ノ儀(脱)相成リタシ
在欧米各大使、勞山、瑞典ヘ転電アリタシ

一八七 一月二十日 在ベルギー国安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二十三回連盟理事会ノ開催地及ビ開会日変

更ニ関スル件

第一八号 (一月二十一日接受)

連盟理事会開會地及時日ニ関シ二十日夜議長ヨリ會員間ノ
意見未ダ一致セザルニ依リ同議長ハ仏国理事ニ対シ直接伊
國理事ト至急交渉ノ上両者ノ議ヲ纏ムヘキ旨申送り置キタ
ルニ付暫時其決定ヲ待タレタシト電報シ来レリ蓋今回理事

会ノ延期及会場変更ノ件ニハ何カ魂胆アリテ各方面ニ暗闘アルモノト観測セラレツツアリ、為念
 勞山、在欧米各大使、瑞典へ転電セリ

一八八 一月三十日 在仏國奧山臨時代理大使ヨリ
 内田外務大臣宛(電報)

第二十三回理事会ノ開會、連盟予算等ノ問題
 審議ノ件

連第九号 (一月三十一日接受)

安達理事ヨリ

二十九日午前十一時第二十三回理事会開會 Viviani (議長) Balfour, Salandra, Quinones de Leon, da Gama, 唐在復 Hymans, Branting, Blanco (「ウルガイ」) 及本使出席ス

- 一、「サルバドル」ノ分担金未納問題ニ関スル總會ノ決議ニ基キ其ノ第一委員会分科会ノ報告及第一委員会議事録ヲ「サルバドル」政府ニ送付シ其ノ意見ヲ求ムルコト
- 二、第三總會中議長ガ過半数ヲ以テ予算ノ修正提議ノ可決ヲ宣言シタルコトハ理事会ノ審査ニ付セラレタルガ理事會ハ

八、加奈陀ノ規約第十条改正提議ニ関スル總會ノ決議ニ基キ右提議ニ関スル意見ヲ六月一日迄ニ申出ゾル様連盟國ヲ招請スルコト及ヒ混成委員会ノ事業進捗振ヲモ考慮シテ最初ノ理事会ニテ本件ヲ審議スベキコトヲ決議ス

一八九 一月三十一日 在仏國奧山臨時代理大使ヨリ
 内田外務大臣宛(電報)

モスール問題、知的協力委員会事業及ビダン
 チッヒ問題等議決ノ件

連第一〇号 (二月二日接受)

安達理事ヨリ

三十日午前及午後ノ會議ニ於テ左ノ諸件ヲ議ス
 一、英國ノ委任統治地域「イラク」國ト土耳其トノ国境問題即チ「モスール」問題ニ関シ「バルフォア」ハ英政府カ「カーゾン」卿ノ事務総長宛書翰ヲ以テ本問題ヲ理事会ノ審査ニ付シタルノ理由トシテ右ハ委任統治地域ノ消長ニ關係シ且領土ノ争タル關係上平和ニ大ナル危險ヲ及ホス虞有ルコトヲ挙ケ勞山ニ於ケル英全權ノ連盟ニ居中調停ヲ求メムトスル提議ハ穩当ナル政策トシテ仏伊日全權ノ支持シタル所ナルモ土國代表ハ之ニ賛同セス之レ

(I) 本件ハ法律上全会一致ヲ要スルモノナルコト
 (II) 總會ガ其ノ Plenary Session ニ於テ予算審議ノ際執ルベキ手續ヲ規定スル様提議シ之ヲ次回總會ノ議題ニ掲グルコトトシ

其ノ原案作製方ヲ事務総長ニ委嘱スルコトヲ決議ス
 三、事務局員ノ恩給制度ニ関スル總會ノ決議ニ関シ監督委員会ノ報告ハ五月一日前ニ連盟局ニ發送スルノ必要アル故理事会ノ審査ヲ經ズシテ右報告ヲ連盟國ニ配付スルコトトシ理事會ハ次回總會ニ於テ右報告審査ノ自由ヲ留保スルコトトス

四、俸給決定委員会ノ生活費ニ関スル報告ヲ審査ス、適用ヲ試ムル前ニ之ヲ監督委員会ニ廻付スルコトトス

五、平明丸ニ乗組ミシ俘虜ノ送還等ニ一万二千金法ヲ要シタルニ依リ經濟封鎖委員会費ヨリ少額ヲ俘虜送還費ニ流用方ヲ決議ス

六、連盟ノ財政特ニ分担金払込状況及労働事務局ノ財政条項ニ関スル事務総長ノ覚書ヲ諒承ス

七、南米トノ連絡ヲ計ル為ニ設ケラレタル連盟事務局支局予算ノ内訳ヲ決定ス

規約第十一条ニ基キ平和ノ確保ニ連盟ノ協力ヲ請ハムトスル所以ナリト云ヒ風説ニ依レハ連盟國タラサルカ故ニ均等衡平ノ待遇ヲ受ケラレヌコトヲ恐レテ土耳其ハ連盟ノ裁定ヲ求ムルヲ欲セサルカ如キモ規約第十七条ノ精神ニ依レハ土國力理事会ノ前ニ全ク均等ノ待遇ヲ受クヘキコトニ付何人モ異論無カルヘシト述ヘ理事会ハ此ノ声明ヲ了承シ議事ヲ後日ニ延期ス

二、往電第四号ニ関シ衛生委員会ノ決議ヲ是認シ特ニ本委員会ノ確定的構成ヲ見シカ為右委員会ト万国衛生事務局トノ混合委員会ヲ組織シテ次回總會ニ提出スヘキ原案ヲ作製セシムルコトトス

三、九月十三日ノ理事会ニ於ケル仏國理事ノ報告ニ基キ智的協力委員会カ作製シタル質問目錄ヲ各国ニ回付スルコト及第三總會ノ決議及十月四日ノ理事会ノ決議ニ基キ右委員会ヲシテ圖書及研究用器具ノ交換又ハ寄贈ヲ為ス意向アル学会ト正式ニ交渉ヲ始メシムルコトトス

四、「ダンチッヒ」高級委員トシテ英國人「マクドナルド」氏ヲ任命ス

五、十月四日ノ理事会ニ仏國理事ヨリ提起セラレタル「ダ

ンチッヒ」ノ警察ノ無能偏頗ニ関スル訴ハ仏国代表ニ於テ「ダンチッヒ」政府ノ説明及将来偏頗無カルヘキ旨ノ保障ニ満足シ円満ニ解決ス

六、賠償委員会ハ「ダンチッヒ」ノ債務ニ一年間ノ支払猶予ヲ与ヘ「ダンチッヒ」代表ハ運転資本トシテ外債ヲ起サムコトヲ希望シタルニ付財政委員会ヲシテ新ナル計画ヲ攻究セシメ又大使會議ニ対シ占領軍等ニ関スル「ダンチッヒ」ノ債務延期要求ニ対シ回答方ヲ促スコトトス
國際會議ニ於テ「ダンチッヒ」市ガ代表セラルル「モダリテ」ニ関スル波蘭ト同市トノ爭議ハ円満ナル協定ニ到達シ理事会ハ之ヲ了承スルニ止ム

七、「ダンチッヒ」市ニ於ケル波蘭公使ノ權限特ニ其ノ外國軍艦ノ訪問ヲ受クルノ權利ニ関シ當事國間ニ円満ナル協定成リ理事会ハ之ヲ了承ス

八、財政委員會員ニ白耳義人 Brunet 和蘭人 Winiarski ヲ任命ス

九、委任統治委員會員ニ英人 Lugard ヲ任命ス

十、連盟事務局圖書館ノ組織及機能ヲ調査スベキ委員四名ヲ任命ス

チェコ・ハンガリー間ノ國境画定、露國ニ調査班派遣及ビ軍縮問題討議ノ件

連第一一号 (二月三日接受)

安達理事ヨリ

三十一日午後ノ會議ニ於テ左ノ件ヲ議ス

一、「チエッコスロバキヤ」ト洪牙利トノ國境確定委員會ニ於テ「サルゴ、ターヂヤン」ヲ洪牙利ニ帰屬セシムルノ可否ニ就キ議分レタル件ハ大使會議ヨリ理事会ニ審査ヲ求メ来リ兩當事國共連盟ノ仲裁ニ服スル旨ヲ声明シ「ダガマ」氏ヲ報告委員ニ任命シタリ

二、七月二十日ノ理事会ニ於テ採択シタル露國ノ飢饉調査ノタメ調査班ヲ派遣センコトヲ求メタル諾威國ノ提議ニ関スル決議ニ基キ提出セラレタル事務總長ノ報告ヲ審査シ調査班ヲ送ラザルコトトス

三、委任統治地域ノ住民ノ請願ノ受付及申請ニ関スル手續ヲ議定ス

四、軍縮問題ニ関シ(i)總會決議第二ヲ列國ニ送付スルコト(ii)總會決議五、及六ノ(a)ニ付テハ当分何等ノ措置ヲ取ラザルコト(iii)總會決議七ノ(b)ニ関シ毒瓦斯及潜水艇問題ヲ

十一、(i)往電連第五号ニ関シ十月十五日寿府ニ開カルベキ稅関手續ニ関スル會議ニ連盟國其ノ他ヲ招請スルコト、

九月中總會及理事会ノ是認シタル文書及本件ニ関シ一九二二年中經濟委員會ノ理事会ニ提出シタル書類ヲ同時ニ各國ニ発送シ五月一日迄ニ本件ニ関スル専門的意見ノ開示ヲ求ムルコト、交通會議ハ十一月十五日ノ開會トシ本會議ト重複セシメザル理事会ノ了解アリ

(ii)經濟委員會ノ仲裁約款ニ関スル提案ヲ議長ノ任命スル法律家ノ委員會ニ付託ス其ノ報告ハ經濟委員會及理事会ノ審査ヲ經タル後之ヲ總會ニ提出シ議定書ニ調印ヲ求ムルコトヲ決議ス

十二、瑞西ヨリ寄付申込アリタル財産ニ関シ事務總長ニ授受ノ手續ヲ委任ス

十三、婦人小兒強制輸送問題ニ関スル委員「ケネディ」ノ報告ヲ了承ス

十四、連盟ノ保護下ニ置カレンコトヲ要求シタル農事國際委員會ノ申込ニ関シ經濟委員會ニ調査ヲ依頼ス

一九〇 二月二日 在バリ奧山連盟事務局長代理ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

華府會議ノ原則普及ヲ目的トスル國際會議ノ日程ニ上スコト(ii)總會決議十二ノ(a)ニ関シ右國際會議ヲ「サンチャゴ」會議ノ直後寿府ニ於テ開會スルコト(iii)總會決議三ニ関シ常設委員會ノ作成シタル統計様式ヲ各國ニ送付シ記入ノ上六月一日迄ニ回付ヲ求ムルコトヲ決議ス

一九一 二月三日 在仏國奧山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

オーストリア經濟復興、東カレリア、アヘン及ビザール流域施設等ノ各問題決議ノ件

連第一二号 (二月四日接受)

安達理事ヨリ

二月一日理事会ニ於テ左記事項ヲ決議ス

一、奥國經濟復興問題ニ関シテハ

(i)曩ニ連盟ヨリ維也納ニ派遣シタル Délégation Provisoire 及 Commissaire Général ノ事業報告ヲ承認シ且之ヲ公表セシムルコト

(ii)奥國ノ最高三百五十万磅ノ起債及其保証ニ関スル監督委員會ノ報告ヲ承認シ已ニ保証参加ヲ承諾シタル諸國

並右参加ニ付考慮中ノ諸国ニ対シ保証ニ関スル請求ヲ為スコトヲ承認スルコト

(ハ)賠償ノ担保タル奥国財産ノ担保解除ニ関スル奥国問題
小委員会ノ報告ヲ承認シ理事会ノ名ヲ以テ賠償委員会ニ対シ右解除要求ヲ為スコト

(ニ)各国カ奥国ト速ニ通商条約ヲ締結セムコト並平和条約ノ範圍内ニ於テ既存ノ約定モ出来得ル限り広汎ニ適用セムコトヲ希望スルコト

(ホ)奥国カ寿府議定書中ニ勸告セラレタル諸改革ヲ実行シ其效果ヲ挙げタルコトヲ多トシ更ニ国民一致シテ一層迅速良好ナル結果ヲ得ルコトノ必要ヲ認ムルコト

二、東 Carelle 問題

本件ハ芬蘭國ヨリ理事会ニ対シ東「カレリイ」ノ住民ニ対スル「ソビエツト」政府ノ処置ガ純粹ノ国内問題ナリヤ又ハ前記兩國間ノ条約ノ結果國際問題ナリヤニ関シ國際司法裁判所ノ意見ヲ問ハムコトヲ求ムルモノナル所理事會ハ之ヲ次回ニ延期シ且事務局ヲシテ必要ナル情報ヲ引続キ蒐集セシムルコトニ決定

三、阿片問題諮問委員会ノ報告ヲ承認シ事務總長ヲシテ右

兵ノ駐在ノ必要アルコトヲ認ムルニ決定

(ハ)同地方住民ニ対スル仏國軍事裁判所ノ權限問題ニ関シテハ一九二一年六月二十日ノ決議以來何等ノ訴訟提起ナカリシヲ以テ本件審議ノ必要ヲ認メザルコトニ決定

(ニ)住民投票準備問題

臨時文書委員 (Provisional Records Commissioner)

ヲシテ成ルベク速ニ人民投票ノ為メ連盟ニ於テ保存ヲ要スベキ文書目錄及其ノ保存方法ニ関スル命令案ヲ事務總長ヘ提出セシムルコト

理事会議長及本件報告者支那理事ハ右命令案ヲ審査ノ上之ヲ理事会委員ニ送付スルコト、二週間以内ニ理事会委員ヨリ本件審議ノ要求提出ナキトキハ理事会ノ承認ヲ經タルモノトナシ事務總長ハ之ヲ施政委員會議長ニ送付シ之ヲ公布セシムルコト

文書處理委員ヲシテ其ノ事務終了ノ時事務總長ニ対シ

六、「ザール」流域施政委員會委員及議長氏名

左ノ通り現任委員ヲ一九二三年二月十三日ヨリ一ヶ年間留任セシムルコトニ決定

四 國際連盟理事会(第二十三回—第二十六回) 關係 一九二

委員會ノ決議実行ノ為メ必要ナル一切ノ手段ヲ尽サシムルコト尚本件ノ報告者ノ報告中決議前文ニ諮問委員會ノ議事ヲ原則トシテ公開トスヘキコトヲ希望スル旨ノ記載アリタルモ右ハ単ニ右委員會ニ其會議公開決定權アルコトヲ認ムル趣意ニ修正又阿片類ノ不正取引ニ対スル刑罰ヲ嚴重ニスルコト及諮問委員會ヲシテ毎年各国ノ阿片類ノ不正取引禁遏ニ関スル報告ヲ理事会ニ提出セシムル二件ヲ諮問委員會ニ付議スルコトニ決定

四、「ヴルナ」地方ニ於ケル非波蘭人保護問題

本件ハ少数民族條約ニ基キ設定セラレタル一般手續ニ依リ連盟ニ於テ之ヲ處理スルコト、但、右ハ領土問題ニ関スル一九一九年一月十三日ノ理事会ノ希望條項ニ何等變更ヲ及ボサザルモノトス

五、「ザール」流域施設問題

(イ)右地方仏國軍隊駐屯ノ件ニ関シテハ一九二一年二月十三日ノ會議ニ於テ採用セラレタル決議ヲ確認シ施政委員會ニ対シ地方憲兵數ノ増加計畫ヲ次回理事会ニ提出セシムルコトニ決定

(ロ)仏國憲兵問題ニ関シテハ仏國軍隊ノ警察ノ為、同國憲

Merault (France) 議長

M. Lambert (Belgium)

Count von Moltke Hauffeldt (Denmark)

Mr. Vougle (Canada)

一九二一年二月五日 在仏國奧山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

エストニアニ於ケル少数民族保護、アルメニ

ア人救済、軍縮混成委員會人事等ニ関スル件

連第一六号 (二月七日接受)

安達理事ヨリ

二月二日理事会ハ左記事項ヲ決議セリ

一、「エストニア」ニ於ケル少数民族保護ノ件ハ第四回總會以前伯刺西爾理事ヨリ更ニ報告ヲ提出スルコト

二、近東ニ於ケル避難民ニ関シテハ五万法ヲ予備費ヨリ支出シ「ナンセン」博士ノ使用ニ供スルコト

尚本件ニ関スル希臘國ノ約千万磅ノ起債問題ヲ財政委員會ニ付議スルコト

三、「アルメニア」人救済ニ関スル Commission Internationaleノ事業ニ対シ事務局ヲシテ出来得ル限り援助

ヲ与ヘシムルコト

四、秘密会ニ於テ連盟經費分担委員会ニ新ニ松山商務官及「ヒリップス」氏(英)ヲ加入セシムルコト。尚松山ハ本使ヨリ東洋方面ノ代表者トシテ推薦シタル処支那理事ハ特ニ日支間ノ關係近頃大ニ良好ニナリタルコトヲ述ベ日本政府ノ措置ヲ德トシ熱心ニ右提議ヲ支持シタルハ一般ノ注意ヲ惹ケリ

五、軍縮混成委員会ニ Manuel Rivas Vicuna 及 Andrea Torre 辞任シ Villegas (在羅馬智利公使) 及 Bon Longare ヲ其ノ後任トシテ指名シ尚新ニ Holsti (フィンランド) 外相) ヲ委員ニ指名セリ

六、會計監督委員会ニ Sir James Allen ノ代ワリニ Lord Meston (前印度大蔵大臣) ヲ指名ス

七、會計検査員ニ Cereza (伊国大蔵省會計検査官) ヲ指名ス

八、次回会議ハ三月十日寿府ニ開会

九、理事増員ノ為報告分担ヲ変更シ本邦理事ハ保健及國際司法裁判所問題(差当リ懸案トナリ居ルハ波蘭ニ於ケル少数民族ノ問題、「レットニー」国ト露国トノ問題、「ザ

ラズト答ヘ結局伊国理事ノ「アプステンション」ヲ以テ全会一致原案ヲ可決セリ

一九四 二月五日

在仏国奧山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

理事会最終會議ニ於テポーランド・リスアニア紛争、ポーランド内ノドイツ系少数民族民族問題等討議ノ件

連第一八号

(二月六日接受)

安達理事ヨリ

二月三日午前ノ最終會議ニ於テ左ノ件ヲ議ス

一、波蘭「リツアニー」紛争ニ関スル客年五月十七日理事会ノ決議ニ基キ中立地帯ニ代フルニ仮境界線ヲ以テスル件ハ調査委員ヨリ右境界線ニ関スル報告アリ理事会ハ全会一致之ヲ採用スルニ決シ波蘭代表ハ之ヲ受諾シタルモ「リツアニー」代表ハ之ニ反対シ波蘭ガ現状ヲ變更セントスルニ於テハ有ユル強硬ノ手段ヲ以テ対抗スベシト声明シ議長ハ規約第十五条ヲ引キテ斯ル場合ニハ第十六条等制裁ノ適用ヲ見ルベシト警告スル処アリ「バルフォア」ハ第十六条ヲ適用スベキ事態發生シタリヤ否ヤノ問

四 國際連盟理事会(第二十三回—第二十六回) 關係 一九四

「ル」流域ニ於ケル交通ノ問題、「モロッコ」ニ於ケル国籍ニ関スル英仏間ノ爭議等ナリ) ヲ受持ツコトトナレリ

一九三 二月五日

在仏国奧山臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

仏国人アヴノルヲ副事務総長ニ指名ノ件

連第一七号

(二月七日接受)

往電連第一六号ニ関シ

二月二日理事会決議事項追加左之通

十、副事務総長 Monnet 辞任ニ付残存任期間其ノ後任トシテ Avenol (仏) ヲ事務総長ヨリ推薦シタル処伊国理事ハ政府ノ命ナリトテ副事務総長ハ現在事務次長ノ一人即新渡戸又ハ Aulico ノ内一人ヲ拔擢スベシト熱心ニ主張シ本使ハ成程現任事務次長ヲ昇進セシムルコトハ奨励ノ途ニモ叶ヒ最モ適當ノ処置ト認ムル旨ヲ述ベタルニ英國理事ハ連盟規約制定ノ当時英國人タル Drummond ヲ事務総長ニ指名スルニ当リ副事務総長ニハ仏人ヲ任命スル精神ナリシ内情ニ顧ミ原案ニ賛成セラレテハ如何ニヤト述ベタルニ付本使ハ強テ原案ニ反対スルノ趣旨ニア

題ハ非常理事会ノ審議ニ讓ルベキモノナリト注意シ議長之ヲ諒シ全員之ニ賛同ス

二、波蘭政府ガ其国有トナレル土地ニ関シ独逸系ノ波蘭人民ガ嘗テ独逸政府ヨリ取得シタル土地所有權(休戦ノ日既ニ未登記ノ分) 及賃借權ヲ否認シ彼等ヲ追放セントスルノ事実ハ少数民族條約違反ニ非ザルヤ否ヤ國際司法裁判所ノ意見ヲ求ムルコトトス

三、「アルバニー」ニ派遣セル調査委員ヲ召還ス「アルバニー」ノ招聘ニ応ズベキ財政顧問ノ任命ハ英、仏、伊及瑞典理事ニ一任ス

四、「ヴェルサイユ」条約第三百〇四条等ニ基キ仏独、仏獨、仏匈、仏勃混合裁判所補欠判事ヲ指名ス

五、財政委員会ノ報告ニ基キ「ダンチッヒ」政府ニ五十万金貨麻克ノ募債ヲ認容シ右發行準備ノ為大使會議及賠償委員会ト交渉方ヲ事務総長ニ委嘱ス

六、「オートシレジー」国境確定ノ為土地ノ事情ニ精通スル専門委員一名ヲ任命ス

七、「ブランコ」ハ「サンチャゴ」ニ開催セラルル汎米會議ハ南米諸國ガ連盟ニ離反セントスルノ証左ニ非ズシテ

南北米両大陸ノ諸国ガ彼等ニ専属スル利害問題ヲ論ジ且彼等ト國際連盟トノ關係ヲ一層調和的ナラシメントスルモノナル旨声明シ議長之ヲ多トス

八、終リニ秘密会ニ移リ「ブランチング」ヨリ左ノ提案アリ

Le Conseil, ayant reçu un certain nombre de demandes exprimant le désir de le voir se saisir du problème des réparations, déclare qu'il donne à ce problème une attention constante et affirme, conformément à la résolution adoptée par l'Assemblée dans sa séance du 27 septembre 1922, qu'il est prêt à contribuer à la solution dudit problème dès que les Gouvernements intéressés le désireront.

「ビビヤニ」「イーマンス」極力反対ノ趣旨ヲ述べ「ブランチング」ハ満場一致ヲ得難キガ故ニ表決ヲ求メザル旨ヲ述べ之ニテ閉会ス

今回ノ理事会ハ十名ノ代表者ヲ算シ全会一致ヲ得難キ場合多カル可キヲ思ハシメタルモ各国理事トモ頗ル調和的態度ニ出デ予期以上ノ効果ヲ収メタリ特ニ「ブランチング」ハ其国内及欧州ニ於ケル立場ニ鑑ミ前述ノ提案ヲ試ミタルモ

一九六 四月十二日 在ジュネーヴ松田連盟事務局長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二十四回連盟理事会ノ議題報告ノ件

連第五〇号 (四月十三日接受)

貴電第一八三号ニ関シ四月十七日ヨリ開会ノ事ニ変更セラレタル理事会ノ議題左ノ通

1. Saar

- a. Development of local gendarmerie.
 - b. Protection abroad of interest of Saar inhabitants.
 - c. Public instruction in Saar.
 - d. Convention between France and the Saar territory regarding double taxation.
 - e. Frantzen case.
 - f. Telegram from Berlin to the Railway Administration of Saar.
 - g. Preliminary measures to be taken in view of plebiscite in Saar.
 - h. Temporary substitute of the Saar Basin Governing Commission.
2. Danzig
- a. Financial situation
 - b. Principles to be applied in leasing of property

強ヒテ大勢ニ逆行シ事態ヲ紛糾セシムル事ヲ避ケテ徐ニ時機ヲ待ツ事トシ只一片自己ノ良心ニ報ユルニ止メタルハ一般ニ聰明達識ノ政治家タルニ背カザルノ好印象ヲ与ヘタリ之ニ反シ「ウルガイ」理事ノ徒ニ同国人若クハ南米人ヲ推薦スルニ腐心シタルハ同僚ニ面白カラザル感情ヲ惹起シタルモノノ如シ

今年ハ定期總會ノ外華府条(脱)ナル刊行物税関手續統一交通ニ関スル國際總會等ニ加ヘテ「ルール」占領問題「ローザン」會議破裂ノ善後策「サンチアゴ」會議ノ結果執ルベキ措置等連盟ノ責務特ニ重且大ナルモノ有ル可シト一般ニ思考セラレ居レリ

本使ハ森山同伴八日帰任ス

一九五 四月十一日 内田外務大臣ヨリ
在パリ松田連盟事務局長宛(電報)

連盟理事会ノ議題ニ関スル件

第一八三号

今回ノ連盟理事会ノ議題要領御電報相成度ク尚今後ノ分モ決定次第電報セラルル様致度シ
安達理事ニ転電アリ度シ

by the Danzig Harbour Board.

c. Official languages to be used by the Danzig Harbour Board.

d. Establishment by Poland of a railway direction in Danzig.

e. Claim by Poland against Danzig for demurrage in case of unloading a munitions ship.

f. Establishment of a letter sorting office by the Polish postal service in the main railway station in Danzig.

3. Constitution of an advisory committee on international administration.

4. Protection of minorities in Latvia.

5. Poland and Lithuania.

a. Execution of the Council's recommendation of February third, 1923, regarding the establishment of a line of demarcation in the neutral zone.

b. Questions which the Lithuanian Government asked the Council to refer to the Permanent Court of International Justice.

6. Albania.

- a. Report by the Commission.
- b. Expenditure of the Commission.
7. Eastern Carrelia.
8. Frontier of Czecho-Slovakia and Hungary.
9. Reduction of armaments.
- a. Assembly resolution No. I.
- b. Position of the members of the Permanent Advisory Commission who are members of the Temporary Mixed Commission.
- c. Assembly resolutions V and VII.
- d. Assembly resolution No. XIV.
- e. Personnel of the Temporary Mixed Commission.
- f. Rules of procedure of the Temporary Mixed Commission.
- g. Assembly resolution No. XII.
10. Letters from Bulgaria regarding supervision of observation of the military, naval and air clauses of the Treaty of Neuilly.
11. Letter from the International Commission on aerial navigation.
12. Expropriation of property in Roumania of the persons who have opted for Hungarian nationality, re-

- quest by the Hungarian Government.
13. National status of the inhabitants of B. C. mandated territories.
14. Report of the Advisory Committee upon women and children.
15. Financial reconstruction of Austria.
- a. Report by the Commissioner General.
- b. Statement as to the issue of a short term loan.
16. Economic and Financial Committee.
- a. Report of the Economic Committee.
- b. Resignation of Avenol.
17. Financial questions.
- a. Report of the Supervisory Commission.
- b. Transfer in the budget of 1923.
18. Application to be placed under the direction of the League from the International Association for Promotion of child welfare.
19. Appointment and substitutes of members for Belgian-German, Belgian-Austrian, Belgian-Hungarian, and Belgian-Bulgarian Tribunals, request by the Belgian Government.

20. Nomination of President of the upper Silesian Mixed Commission.
21. Insertion in the agenda for the next assembly of the following item:
Election to the Permanent Court of International Justice necessitated by the decease of Ruy Barbosa.
22. Report of the Committee of Experts on libraries of the Secretariat of the League of International Labour Office.
23. Periodical report on financial situation of the League.
24. Authority of the Council for provisional circulation of the reports from the League Commissions to the members of the League.
25. Appointments to and resignation from the Secretariat.

- démision de Hector, membre saarrois de la commission du gouvernement.
9. h. expiration des contrats des secrétaires militaire, naval et aérien de la commission permanente consultative.
15. c. condition d'emprunt à long terme approuvé par le comité de contrôle.
16. c. demande du gouvernement tchéco-slovaque en vue de sa représentation dans la commission pour superposition d'impôt.
17. c. arrangements financiers pour règlement du différend lithuano-polonais.
26. trafic d'opium, nomination d'assesseurs.
27. minorités allemandes en Pologne.
28. deuxième conférence générale de l'organisation des communications et du transit.
29. habitants bulgares de Thrace occidentale.
30. demande du président du congrès universel de laiterie.
31. réfugiés d'Asie-mineure, projet de l'établissement en Thrace occidentale.

一九二 四月十八日 在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨリ
内田外務大臣宛 (電報)

第二十四回連盟理事会ノ追加議題報告ノ件

第二号

(四月二十日接受)

理事会追加議題左ノ如シ

一九八 四月十八日 在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二十四回連盟理事会ノ開會、財政問題等各
議題審議ノ件

第三号

(四月十九日接受)

十七日午前十一時第二十四回理事会開會、Wood(英國議長) Hymans, da Gama, Gout(仏) Garbosso(伊太利) Guinones de Leon, Uden(瑞典) Guani(「ウルガイ」)唐在復及本使出席、午後モ引続キテ開會、左ノ諸件ヲ議シタリ

(一)、議題第一ヨリ第三十一迄ヲ是認シタル外「ウンデン」氏ノ要求ニ基キ「ザール」市政委員会ガ発布シタル法案
条例ヲ議題ニ加フ

(二)議題十七、aニ関シ、監督委員会ヨリノ報告ニ基キ其ノ議事規則ヲ是認シ補欠委員二名ヲ任命スルコトトス、但總會ガ何分ノ決定ヲナス迄現在ノ監督委員ハ代理ヲ任命ス、又俸給決定委員会ノ生活費ニ関スル調査報告ニ就テハ英國理事ヨリ比較研究ノ基礎トシテ千九百二十一年ノ数字ヲ採リタルコトヲ不可トナシ、再調査ヲ求ムルノ提

避クル為メ事務総長ヨリ仮ニ配布セシメ理事会ニ代表セラルル国ハ審査權ヲ留保スルコトトス

(三)議題第二十一、之ヲ總會ニ上程スルニ決ス又同時ニ英國政府ノ國際司法裁判所判事ハ英仏語ヲ充分諒解スルモノタルヲ要スル旨ノ覚書ヲ各國政府ニ廻付シ判事ノ選舉ニ関シテハ決シテ其ノ撰択ノ範圍ヲ限ラントスル意思ニアラザルモ可成現実ニ裁判所ニ出席スルモノヲ推ス様連盟国ニ勧告サスニ決ス

(四)議題第三ニ関シテハ事務局ノ原案ニ対シ、仏國理事ヨリ修正提議アリ、英國理事ヨリ本國政府ニ於テ其ノ根本主義ニ異存ヲ有スルトテ審議ヲ次回ニ延期ス

(五)「チェコ・スロバキヤ」外務大臣 Benes 氏ヨリ二重課税問題ヲ審議スベキ委員会ニ大蔵大臣 Valnček 氏ヲ参加セシメタキ旨要求アリ之ヲ招請スルニ決ス

(六)(脱)

(七)議題十八、理事会昨年九月十六日ノ決定ニ準拠シテ協會幹部ノ過半数ヲ政府側代表トナスノ不利ナル旨ヲ同協會議長ヨリ指摘シ来レルアリ、他方白耳義政府ヨリ労働理事會ノ例ヲ引キテ速ニ連盟ノ(脱)意見ノ相違アリ、妥

議アリ理事会ハ之ニ同意ス、恩給制度ニ関シテハ監督委員会ガ原則ヲ定メ詳細ノ立案ヲ専門家ニ依頼シタルコトヲ了承シ監督委員会ガ其ノ提案ヲ是認シタル時ハ直ニ之ヲ連盟国ニ送付スル様事務総長ニ委嘱ス、但シ理事会ハ審査權ヲ留保ス、又監督委員会ガ分担金払込遅延ノ為メ連盟事務局特ニ労働事務局ノ財政困難ニ陥レル状況ヲ審査シ実行予算上一割五分ノ節約ヲ為スコト、必要アレバ起債ヲ為スコト及労働事務局ノ現実ノ欠損ハ之モ千九百二十四年ノ予算ニ計上スルコト等ノ勧告ヲナシタル旨ヲ了承ス

bニ関シ、少額ノ流用ヲ認ム
cニ関シ「リツニア」波蘭紛争ニ関スル經費ヲ兩當事国ヨリ徴収シテ尚不足スル額ヲ予備費ヨリ支出スルニ決ス

(三)議題第二十三、事務総長ノ財政状況ニ関スル報告ヲ了承ス、右ニ依レバ本年度經費ニ関シ払込ヲ為セル国ハ曩ニ電報セル如キモ其ノ払込高總計ハ二百万金貨法ニ過ギズ、又大多数ノ国ハ払込時期ヲ約束シ居レリ

(四)議題第二十四、各種委員会ヨリ提出サルル報告ハ遅延ヲ

協成立ヲ待ツコトトシ審議ヲ次回ニ延期ス

(五)議題第四、連盟事務局側ト「ラトビア」政府代表トノ内協議纏ラズ、次回ニ延期ス

一九九 四月十九日

在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ポーランドニ於ケルドイツ少数民族問題等議
了事項報告ノ件

第四号

(四月二十日接受)

十八日午前ノ會議ニ於テ左ノ件ヲ議了ス

(一)議題第二十七、理事会ハ二月三日ノ決議ヲ以テ波蘭ニ於ケル独逸少数民族問題ニ関シ國際司法裁判所ノ意見ヲ求ムルコトトシタルカ其決議B項ニ関シ波蘭ハ其意義ヲ正確ナラシメンカ為右ハ休戦前ニ借地契約ヲナシタルモ休戦後ニ於テ登記ノ手續ヲナシタル借地人ニノミ關係スルモノナルコトヲ明カニセンコトヲ求メ理事会ハ初メヨリ波蘭政府ト所見ヲ同シクセル旨ヲ声明シ報告委員ノ報告ヲ波蘭政府及國際司法裁判所ニ送付スルニ決ス

(二)議題第六、「アルバニア」調査委員 Sederholm 及 Count Molke ノ最終報告ヲ了承シ其勞ニ対シ感謝ノ意

ヲ表シ右委員ノ一九二三年ニ要シタル經費ヲ予備費ヨリ支出スルコトトス

- (三)議題第十六、往電連第四二号ニ関シ愛蘭ヲ招請スルコトヲ可決シ商事仲裁条項ニ関スル条約案ハ理事会ニ提出セラルルニ至ラスト雖モ既ニ其内容ヲ是認セル次第二付出來次第各國政府ニ配布セシム「アルバニア」財政顧問ニハ Hunger 氏任命サレタル由ヲ了承シ其雇傭契約ヲ是認ス尚又委員 Avenol 氏辭職セルニ付 Parmentier 氏(仏)ヲ任命ス

- (四)議題第十一、航空委員會ハ飛行機ノ国籍ヲ示ス為用フヘキ標号ヲ立案シ其採用ヲ連盟國ニ勸告スル様理事会ノ支持ヲ要求シタルカ本件ヲ交通委員會ノ議ニ付シ其意見ヲ俟チテ理事会議長ヨリ各國ニ右要求ヲ移牒スルコトトス
- (五)議題第二十五、事務總長ノ提出シタル職員異動報告ヲ是認ス

- (六)議題第二十、任期ヲ定メス「カロンデル」氏ヲ重任セシム

- (七)内野氏ヲ保健委員會委員ニ指名ノ件理事会ノ承認ヲ經タリ監督委員會補欠員ニハ Zahle (丁抹) Parra Perez

- (c)ニ関シ港務部ノ公用語ニ関スル高級委員ノ決定ヲ排シ独逸語及波蘭語ニ均等ノ地位ヲ与ヘ特定ノ事件ニ孰レノ語ヲ使用スルカハ簡便、經濟ヲ旨トシテ港務部長之ヲ決定スル事ニ当事國ノ協定成リ理事会ハ之ヲ確認シタリ
- (d)ニ関シ高級委員ノ決定ヲ排シ「ダンチヒ」中央停車場ニ於ケル郵便物分類事務ハ唯海外ヨリ來レルモノ及汽車ニテ波蘭ヨリ來レルモノノ分類ニノミ從事スベキ事ニ協定成リ理事会ハ之ヲ確認シタリ

- (二)議題第二十八第二回交通總會ハ十一月十五日寿府ニ招集スル事、右會議ニハ承認セラレタル國家ハ非連盟國ト雖モ等シク之ヲ招請スル事ヲ決議ス

- (三)議題三十米國政府ノ庇護ノ下ニ本年十月華盛頓ニ開會セラルベキ製乳業者會議ニハ多數列國ノ参加ヲ希望シ米國政府ヨリ招待狀ヲ發シタル趣ナルガ右會議議長ヨリ連盟保健委員會長宛其援助ヲ要求シ來リタルニ付事務總長ヲシテ本件關係文書ヲ連盟國ニ配付スル事及保健委員會ヲシテ技術上ノ協力ヲ与ヘシムル事ヲ決議ス

二〇一 四月二十日 在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

(ベネズエラ)指名サル

- (六)五月三十一日及六月一日ニ亘リテ「ストラッスブルグ」ニ於テ執行セラルヘキ Pasteur 百年祭ニ連盟ヲ代表シテ保健問題ノ報告者タル本使ノ出席方ヲ慫慂サレ承諾ヲ与ヘタリ

二〇〇 四月二十日 在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

- 第五号
ダンチヒ問題、交通總會開會等議了ニ関スル件
(四月二十一日接受)

十九日午前午後ノ會議ニ於テ左ノ件ヲ議了ス

- (一)議題第二(a)ニ関シ「ダンチヒ」政府ヨリ財政上ノ改革ヲ行ヒタル結果運轉資本ハ五十万金貨馬克ニテ足ル事トナレル旨通知アリ依テ二月三日ノ理事会ノ決議ニ基キ右金額ヲ起債ニ依リテ取得スル為「ダンチヒ」ニ先順位ヲ付与スル様大使會議及賠償委員會ト交渉方事務總長ニ委嘱ス(b)ニ関シ高級委員ハ多數ノ出願人アル場合ニ於テ同一條件ノ下ニアリテハ波蘭人ニ優先權ヲ与フベシトノ決定ヲ為シタルガ波蘭及「ダンチヒ」代表間ニ其解釈及適用期限ニ関スル一致ノ協定成立シ理事会ハ之ヲ確認シタリ

婦人兒童問題ノ討議ニ関スル件

第六号 (四月二十一日接受)

(十九日會議ノ続キ)

- (四)議題第十四 往電連第三九号ニ関シ第一点ニ付テハ單純ニ婦人兒童委員會ノ報告及議事録及理事会ノ議事録ヲ連盟國ニ送付スルニ止ム第二点ニ付テハ公娼制度ノ存置スル國ニ於テハ其ノ結果婦人ノ売買ヲ誘致スルノ傾向アリヤ將又之ヲ阻止スルノ傾向アリヤ詳細報告セム事ヲ求ムル意味ニ改メテ其ノ決議ヲ採用ス第三点ニ付テハ當事國政府ノ承諾及協力ヲ得テ調査ヲ実行スルモノナル事ヲ明ニシテ採択セラル右調査ニ從事スベキ專門家ハ次回理事会ニ於テ事務總長ヨリ選定スベキ候補者ニ付三、四名ヲ任命スル管本使ハ極東特殊ノ事情ニ鑑ミ亜細亞ヨリモ一人ノ專門家ヲ任命スルノ必要アル事ヲ力説シ大体賛同ヲ得タルガ惟フニ右專門家ヲ任命スル事ト前述ノ調査ヲ承諾シ之ニ協力ヲ与フル事トハ離ルベカラザル德義上ノ關係アリ故ニ帝國政府ニ於テ該調査ニ對シ承諾協力ヲ与ヘ同時ニ專門家ヲ推薦セラルル御意向ナルニ於テハ至急其人選ト併セテ御回電ニ接シタシ

二〇二 四月二十一日

在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報)

委任統治B、C式土人ノ国籍問題討議ノ件

第七号

(四月二十二日接受)

二十日午前ノ理事会ニ於テb及c式土人ノ国籍問題ヲ議題トシ報告委員ヨリ委任統治委員会ヨリ提出サレタル原案ヲ決議案トシテ提出シタルニ英國代表(議長)ハ別案ヲ提出シ土人ノ国籍ハ委任統治国ノ国籍トハ別個ニシテ一般的ニ適用サルル立法手段等ニ依リテ兩者ヲ同一視スルヲ得ズ、然レトモ土人其ノ他ノ住民ガ委任統治国ノ法則ニ準拠シテ個別的ノ行為ニ依リ委任統治国ノ国籍ヲ取得スルハ此原則ニ反スルモノニアラズ又土人ニハ委任統治制度ノ下ニアルコトヲ明示スル名称ヲ付セラレンコトヲ希望スル趣ノ決議案ヲ採択センコトヲ求メ新西蘭代表ハ新立法手段ヲ以テ土人ヲ自国ニ帰化セシメ得ルノ途ヲ開カンコトヲ要求シ、南阿代表ハ特ニ独逸人ニ付彼等ヲ自治制度ニ貢獻セシメンガ為ニ立法手段ニ依リ一挙ニ英國民トナシ其ノ英國籍ヲ拒絕スルモノアレバ其ノ自由ニ放任スルコトトナスヲ許容センコトヲ要求シ委任統治委員長「マルキテオドリ」ハ委員

耳義、瑞典理事ハ棄権ノ旨ヲ声明シ本使モ亦留保ヲナシタルガ仏国理事頗ル英國ノ為ニ斡旋シ白耳義理事等ノ為ニ請訓ノ暇ヲ与フル為月曜迄決定ヲ延期シタルガ本使ニ於テハ我主張到底貫徹スルノ途無ク他各理事皆英案ニ反対セザル場合ニ於テ何等ノ訓令ニ接スルノ暇ナキヲ以テ帝國ノ利益ニ關係ナキ故正面ヨリ反対セズ棄権スルニ止メタク修正セラレタル決議案ハ結局成立スル見込ナリ其案文左ノ如シ

Conseil de la Société des Nations, au cas spécial qui lui est soumis et fait qu'il ne s'agit que des habitants d'origines allemandes dans les territoires soumis au mandat d'Afrique de sud, prend note de la déclaration faite par le représentant d'Afrique de sud et ne voit pas inconveniente, aux mesures proposées.

尚又土人ノ国籍ニ関スル決議案ニ付テハ起草委員会ニ於テ英國案ニ多少ノ修正ヲ加ヘタルノミニテ委任統治委員会提案タル土人特殊ノ国籍ヲ尊重シ之ヲ保有セントスル趣旨ハ殆ド没却セラレタルガ二十一日ノ會議ニ於テハ他ニ一人ノ反対者モナキニ付本邦ノ利益ニ關係アル問題ニモアラザル故公正ノ態度ヲ以テ規約ノ精神ヲ高調スルニ止メタルガ結局英國提案ハ些少ノ修正ヲ以テ明後日採用セララル見込ナ

會二個年ノ研究ノ結果ヲ理事会ガ無視スルハ其ノ忍ビ得ル処ニアラザルコト並英國案及南阿代表ノ要求共ニ規約ノ精神ニ反セルコトヲ主張シ本使ハ委任統治委員会ノ原案ガ土人ノ国籍ヲ別個ノモノトシテ之ヲ尊重シ將來或ハ独立ノ地位ヲ獲得スルニ至ルコトアルヲ予想セル規約ノ精神ト一致セルニ反シ英國案ハ委任統治地域ニ本國同様又ハ別個ノ帰化法ヲ公布シ土人ノ帰化ヲ容易ニシ之ヲ促進シ行政官ノ手加減ニ依リテハ數年ナラズシテ或ハ悉ク土人ヲ驅ツテ委任統治国ニ帰化シ去ルノ虞アルヲ看取シタルニ付規約ノ精神ヲ高潮シテ「マルキテオドリ」ノ説ヲ支持シタルガ英國理事ハ頑強ニ原案ヲ支持シテ之ヲ南阿連邦代表ノ要求ト共ニ起草委員会ニ付議センコトヲ提案シ強テ反対者ナク可決二十一日ノ理事会ニ於テハ起草委員会ニ於テ意見ノ一致ヲ得ザリシ南阿連邦代表ノ要求ヲ議題トナシ英國理事ハ南阿代表ガ立法手段ニ依リ独逸人ヲ一挙ニ英國籍ニ移サントスル要求ヲ容認センコトヲ要求シテ此要求ニシテ容レラレザランカ「スマッツ」元帥ハ委任統治国政府トシテノ責任ヲ回避スルカ又ハ其必要ト信ズル任意ノ行動ニ出ズルノ外無カルベシト主張シ伊国理事「サランドラ」ハ頗ル躊躇シ白

リ、以上二点ニ關シテハ請訓ノ暇ナク以上臨機ノ処置ニ出デタル次第ナルガ本件ハ委任統治問題ノ將來ニ大關係ヲ有スルガ故ニ至急御高見承知致シタシ

二〇三 四月二十三日

在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報)

ダンチヒ、東カレリア、西スラース、ポーランド

・リスニア紛争、軍縮等ノ各問題審議ノ件

第九号

(四月二十四日接受)

二十日午後及二十一日午前及午後ノ會議ニ於テ左ノ件ヲ議了ス

(一)議題第二

「ダンチヒ」市外ニ在ル波蘭鐵道ノ管理局ヲ「ダンチヒ」ニ設クル件ニ關スル高級委員ノ決定ハ審査ヲ次回ニ延期ス

(二)議題第七

芬蘭代表ハ東「カレリ」自治問題ガ露国ノ内政問題ニ過ギザル由ヲ勞農政府ガ主張セルニ鑑ミ露西亞及芬蘭間ニ締結セラレタル「ドルバト」条約第十條及第十一條並右ニ關スル露国代表ノ声明ハ芬蘭ニ對スル露国ノ國際義務ヲ構成スルモノナリヤ否ヤニ關シ國際司法裁判所ノ意見ヲ諮問セム

事ヲ理事会ニ要求シ理事会ハ之ヲ承諾シタリ

(三) 議題第二十九

西部「スラース」ニ於テ其ノ亜細亞ヨリ来レル避難民ニ住所ヲ給セシガ為ニ希臘政府ハ右地方ニ於ケル勃牙利人ヲ追放シ勃牙利ハ理事会ニ其救済ヲ求メ来リタルガ希臘代表ハ右地方ニ於ケル一揆ガ治安ヲ妨害スルガ故ニ右ノ処置ニ出デタルモ其ノ憂ヒ終熄スルニ於テハ勃牙利人ニ帰郷ヲ許ス可シト声明シ理事会ハ右声明ヲ諒承シテ希臘政府及「ナンセン」博士ニ避難民ノ救済ニ尽力ヲ求メ又主要同盟国ニ本件關係書類ヲ交付シテ西部「スラース」其ノ住民及特ニ其小數民族ノ運命ヲ決定セム事ヲ要求シ其ノ結果執ラレタル措置ニ就キ報道ニ接セン事ヲ求ムル様事務総長ニ委嘱ス

(四) 議題二十四

専門委員會ノ連盟及労働事務局ノ図書館ニ関スル報告ヲ是認シ速ニ図書買取り其他ニ関スル専門委員ヲ任命スル事ニ決ス

(五) 議題第五、a ニ関シ

波蘭「リツアニア」紛争ニ関スル二月三日ノ理事会決議ノ実行ニ関シ「リツアニア」ハ屢々仮境界線迄進出シタ

c ニ関シ

兵器ノ民營及取引ニ関スル總會ノ決議ニ就テハ如何ナル条件ノ下ニ合衆国ハ列国ト協力セントスルカラ照会スル様議長ニ委嘱ス

d ニ関シ

「セシル」卿ノ保障条約案ヲ列国ニ配布スルコトトス

e ニ関シ

前回理事会ニ於テ混成委員會委員ニ任命セラレタル Holsa 氏及 Villegas 氏ハ共ニ之ヲ受諾シタルモ經濟委員會ノ推薦ニ基キ任命セラレタル Vilfredo Pareto 氏ハ之ヲ拒絶セル旨事務総長ヨリ報告アリ、理事会ハ經濟委員會ニ他ノ候補者推薦方ヲ依頼ス

f ニ関シ

之ヲ是認ス

g ニ関シ

会期ノ決定ヲ次回ニ延期ス

(六) 「アランドラ」氏ヨリ無線電信ニ関スル國際會議ヲ招集センコトヲ提議シ本件ヲ交通委員會ニ付議シ専門家ノ委員會ニテ研究ノ上提案セシムルニ決ス

ル波蘭兵ト自国兵トノ間ニ衝突アリタルコトヲ報道シ理事会ノ注意ヲ喚起シタルガ「イーマン」氏ハ右ニ関シ單ニ其ノ經過要領ヲ理事会ニ提出スルニ止メタルガ「リツアニア」代表ハ理事会ノ措置ト大使會議ノ決定トノ間ニ大ナル矛盾アルコトヲ指摘シ国境問題ハ終熄シタルニアラズト声明シテ理事会ノ決議ト共ニ之ヲ次回總會ノ議題ニ上程センコトヲ要求シタリ、又

b 「リツアニア」ガ理事会二月三日ノ決議ノ効力如何ニ関シ、國際司法裁判所ノ意見ヲ求メンコトヲ要求シタル件ハ理事会之ヲ排斥シ「リツアニア」代表之ヲ次回總會ニ付議スベキ旨ヲ声明シタリ

(六) 議題第九、a ニ関シ

軍事予算ヲ一九二三年ノ數字ニ制限スル様勧告スベシトノ總會決議ハ之ヲ各国ニ移牒セズ混成委員會ヲシテ次期總會ニ精密ナル提案ヲナス為メ研究ヲ続行セシムルコトトス

b ニ関シ

混成委員會ニ於ケル軍事委員會委員ハ其ノ個人的能力ニ依リ任命セラレタルモノナリトノ決定ヲ与フ

(六) 次回理事会ハ六月二十五日開会ト決ス

二〇四 四月二十三日

在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨ
内田外務大臣宛(電報)

オーストリア財政復興問題討論ノ件

第一〇号

(四月二十四日接受)

二十二日午前議題十五奧國財政復興問題ニ関スル分科会アリ Seipel 出席午後ノ理事会ニ於テ Commissaire Général ノ一月中旬ヨリ三月中旬ニ亘ル二個ノ報告ヲ了承シ政策ヲ是認シ經費ノ節減、冗員ノ淘汰、鉄道其他ニ関スル内政改革ガ更ニ促進セラレタルニ満足ノ意ヲ表シ短期公債ノ收入ハ有効ニ使用セラレ長期公債ノ募集ガ満足ナル成効ヲ収メンコトヲ希望シ若シ奧國政府及人民ガ堅忍不拔ノ精神ヲ以テ前述ノ努力ヲ継続スルニ於テハ必スヤ奧國財政復興ニ関スル壽府議定書ノ目的ハ貫徹セラルヘキ旨声明シタリ又保障ニ参加ノ意思アルモ第一回ニ募債公告ノ發表迄保障ヲ与フルコトヲ得サル國ハ其法律ヲ改正シテ直接貸付ヲナス様勧告シ保障財政ノ「トラスチー」トシテ財政委員會長ヲ任命シ追テ三名ノ「トラスチー」ヲ指定シ得ルコトトシ「チェッコ・スロバツク」一千九百二十二年貸付金六千万

金貨「クローネ」ハ新公債ニ乗換シテ長期公債ノ募集計画ヲ是認シタリ

二〇五 四月二十四日

在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報)

B及C式委任統治地域土人ノ国籍問題ニ関

スル件

第一一七

(四月二十五日接受)

往電第七号ニ関シ

二十三日午後ノ理事会ニ於テB及C式委任統治地域土人ノ国籍問題ニ関シ理事会ハ委任統治委員会ノ報告ヲ審査シ規約第二二条ノ主義ニ準拠シテ本決議ヲ採用スル旨ヲ「プレンブル」トシ左ノ四項ヲ決議シタリ

1. Le statut des habitants indigènes d'un territoire sous mandat, est distinct de celui des nationaux de la Puissance mandataire et ne saurait être assimilé à ce statut par aucune mesure de la portée générale.

2. Les habitants indigènes d'un territoire sous mandat n'acquiescent pas nationalité de la Puissance mandataire par suite de la protection dont ils bénéficient.

3. Il n'est pas contraire aux principes posés ci-dessus

ラ」ハ本決議ハ規約第二二条ガ土人ニノミ適用セラルルモノナリヤ否ヤノ点ニ付何等ノ予断ヲ下サザルモノナリトノ諒解ノ下ニ之ヲ受諾スト述ベ本使ハ矢張前掲ノ理由ニテ棄権シ且「ブランチング」ト同様ノ疑義ヲ有スト付言シ置キタルガ兎ニ角英國ハ委任統治委員会ノ結論ヲ排斥シ理事会ヲシテ其ノ便宜トスル決議ヲ採用セシムルニ成効シタリ

二〇六 四月二十六日

在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報)

ザール問題議了事項報告ノ件

第二二七

(四月二十七日接受)

二十三日午前ノ理事会ニ於テ左ノ諸件ヲ議了ス

(一)議題第一ニ関シ本件ハSarre流域ニ仏国軍隊ノ駐在ヲ不当トシ地方憲兵ヲ以テ之ニ代ラシメシムコトヲ要求シタル独逸政府ノ書翰ニ端ヲ発シ前回理事会ノ議ニモ上リタルモノナルカ理事会ハ施政委員会カ一九二二—一九二四年度ニ於テ二百人ノ憲兵ヲ養成シテ都合三百五十五人トナス計画アル旨ヲ理事会ニ報告シ理事会ハ之ヲ諒承シテ一九二四—一九二五年ノ新計画ニ付テモ報告ニ接センコトヲ要求シタリ右ニ関シ「ブランチング」氏ハ理事会ノ

sous (1) et (2) que les habitants d'un territoire sous mandat puissent, par acte individuel de leur volonté, obtenir, par naturalisation, nationalité de la Puissance mandataire, conformément aux mesures qu'il serait loisible aux Puissances mandataires, d'édicter à ce sujet dans leur législation.

4. Il est à désirer que les habitants indigènes qui bénéficient de protection de la Puissance mandataire soient désignés en ce qui concerne chaque mandat, par telle dénomination qui précisera clairement leur statut sous le régime du mandat.

右決議ニ関シ本使ハ我政府ガ是認シタル委任統治委員会ノ報告ト差違アリ、本国政府ノ訓令モ接到セザルニ付今賛成シ難キモ本使ノ留保ノ為ニ英國提案ノ成立ヲ妨グルハ又忍ビザル処ナルニ依リ棄権スル旨ヲ述ベ置タリ又南阿連邦統治地域ニ於ケル独逸人ヲ一括英國民タラシメントスル立法ヲナスコトヲ許容サレンコトヲ要求シタル南阿代表ノ提議ニ付テハ「ブランチング」ハ委任統治国ヨリ其ノ統治地域ニ於ケル土人ト其ノ然ラザルモノトニ付差別待遇ヲナシテ可ナリヤ否ヤハ主義上頗ル疑義アリト声明シ「サランド

憲兵ヲ養成セントスル決議アルニ反シ最近仏国軍隊ヲ増加シタル理由如何ト施政委員会議長ニ質問シ同議長ヨリ同盟罷業ニ関連シテ秩序維持ノ為仏国兵二千名ノ派遣ヲ要求シタルモ機宜ノ措置ナレハ常態ニ復スル時ハ撤兵セシムヘシト答弁アリ「ブ」氏之ヲ諒承ストニ関シ施政委員会ハ海外ニ於ケルSarre流域住民ノ保護ヲ仏国ニ託シタルカ独逸政府ハ右ノ保護ヲ自国ニ託センコトヲ要求シ施政委員会ハ右要求ハ法律上許容シ難キノミナラス現制度ハ何等ノ不便ヲ惹起セスト主張シ理事会ハ主張ヲ容レ施政委員会ヨリノ書翰及報告委員ノ報告ヲ独逸政府ニ送付スルニ決スCニ関シ独逸政府ハ仏国官有鉱山所屬ノ学校ニ就学スル児童ハ之ヲ仏国人ニ限リ又工業学校小学校ノ仏語学校ハ之ヲ廃止センコトヲ要求シ施政委員会ハ右要求ノ諒解ニ基クコトヲ指摘セル書翰ヲ理事会ニ寄せ理事会ハ之ヲ独逸政府ニ移牒スルニ止ム

Dニ関シ独逸政府ハ二重課税ニ関スルSarre及仏国間条約ニ於テSarre又ハGouvernement sarrois ト云ハルハSarre地方ヲ仏国同様ノ地歩ニ置キ自治ヲ有スル一国家ノ觀ヲ呈セシムトテ抗議シ理事会ハ右名称ハ「ベ

ルサイユ」条約ニ基ケル Sarre ノ法律上ノ地位ニ何等ノ影響ナシトノ決議ヲ採用シ之ヲ独逸政府ニ致サシムニ関シ「フランツェン」ハ仏国官吏ニシテ施政委員会ノ要職ニ就キタルカ之ニ対シ独逸政府ヨリ抗議シタルカ同人ハ既ニ退職セルニ付審査ヲ為サス報告委員ノ報告ヲ独逸政府ニ送付スルニ決ス

f ニ関シ、独逸交通大臣ガ Sarre 地方鉄道管理局ニ宛テ Ruler 占領ニ際シ執ルベキ態度ニ関スル訓令ヲ発シ施政委員会ヨリ此干渉ニ対シ理事会宛抗議ヲ呈シ独逸政府ヨリ其ノ過失ナルコトヲ陳謝シ来リタルガ理事会ハ之ヲ領承スルニ止ム

g ニ関シ、理事会二月一日ノ決議ニ基キ人民投票ニ必要ナル記録ノ保存方法ノ調査ヲ委託セラレタル委員ヨリ本件ニ関シ Sarre ニ施行スベキ条例案提出アリ、理事会ハ之ヲ承認シ施政委員会ヲシテ之ヲ公布セシメ、右委員ヲ其ノ執行ニ当ラシムルニ決ス

i ニ関シ、施政委員会ニ於ケル Sarre 代表 Hector 氏辭職ニ付代理事ヨリ Land 氏ヲ推薦シ英國理事ハ調査ノ暇ナキニ付仮ノ任命トナサンコトヲ提議シタルモ仏理

ング」氏ヨリ同盟罷業終了後直ニ之ヲ撤廃センコトヲ希望スル処アリ、施政委員會議長ハ撤廃ハ情況ノ推移ニ鑑ミザル可ラザル旨ヲ説キ右条例適用ニ関シテ理事会ノ信頼ヲ要求シ同会之ヲ容レタリ

二〇七 四月二十七日

在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

チェコ・ハンガリー國境問題、小アジア難民

救済事業等ノ議了事項報告及ビ第二十四回理

事会ノ閉会ニ関スル件

第二十三号

(四月二十八日接受)

二十三日午後ノ理事会ニ於テ左ノ諸件ヲ議了シ閉会シタリ

(一)議題第八

智恵古、洪牙利國境確定委員會炭坑及石切場ヲ有スル「サルゴタルジャン」ノ帰属ニ関シ其ノ議分レ、為メニ本件ハ前回理事会ニ付議セラレ延期トナリタルガ討論及審査ノ結果理事会ハ人種上及經濟上ノ見地ヨリ炭山及石切場ヲ含ム地方ヲ洪牙利ニ、其他ノ砒地ヲ智恵古ニ帰属セシムルニ決シ当事國之ヲ受諾ス

(二)議題第十

四 國際連盟理事会(第二十三回—第二十六回) 關係 二〇七

事主張ヲ枉ゲズ、英理事ハ何時ニテモ問題ヲ提起シ得ル権ヲ留保シテ一千九百二十四年二月迄任命スルコトニ同意シ本使之ニ倣ヒタルガ投票ノ(脱)ニ至リ「ブランツェン」氏及英國理事ハ棄權シタリ、又施政委員會ガ萊因地方國際占領軍委員會ヲ承認シ之ト關稅制度ニ関シ協商シタルハ偏頗ナル処置ナリトテ独逸政府ヨリ理事会ニ抗議スル処アリ、施政委員會ハ既成事實ヲ前提トシテ其ノ住民ノ利益擁護上已ムヲ得ザルニ出デタル措置ナリト弁明シ理事会ハ双方ノ書簡ヲ領承シ当事國間ニテ其ノ争点ヲ解決スル様希望ヲ開陳スルニ止メタリ、最後ニ施政委員會ハ多数決ニテ峻嚴ナル保安条例ヲ公布シタルガ「ブランツェン」氏ハ右条例ニ付言論ノ抑圧甚ダシク刑罰ノ頗ル峻嚴ナルコトヲ指摘シ其ノ非常ノ刺撃ヲ惹起シタルヲ遺憾ナリトシ弁明ヲ求メンガ為メ本件ノ上程ヲ要求シタリト述べ施政委員會議長ハ独逸官憲又ハ「ナシヨナリスト」ノ団体ト關係アル秘密結社ノ存在、示威運動、同盟罷業ノ勃発等ニ顧ミ住民及仏國官有鉱山保護ノ為、已ムナク非常手段トシテ右条例ヲ施行シタリト答ヘ「アノトウ」之ヲ支持スル処アリ、英理事及「ブランツ

大使會議ハ勃牙利、奧地利及洪牙利ヲ一括シテ其ノ陸空軍監督委員會ヲ構成シ勃牙利ニ現存スル空軍監督委員會及陸軍監督委員會ノ清算事務所ニ代ヘントシ勃牙利ハ之ニ反対シ理事会ニ愁訴スル所アリ理事会ハ問題ノ点ハ勃牙利ハ既ニ条約上ノ義務タル軍備縮小ヲ実行シタリヤ其ノ実行如何ヲ認定スル權能ヲ有スル者ハ誰ナルヤノ二点ニアリ其後者カ先決問題ナレハ本件ヲ大使會議ニ予メ付議スル様勧告シ其ノ決定ヲ見タル上ニテ Neutly 条約第百〇四条ノ適用問題ヲ攻究スルコトトス

(三)議題第三十一

小亜細亞ヨリノ避難民救済事業ノ狀況ニ関シ「ナンセン」ノ報告アリ之等ヲ西部「スラース」ニ殖民セシムル為必要ナル資金ヲ希臘政府カ公債ニヨリテ獲得スルコトニ関シ小委員會ヲ設ケ財政委員會トモ打合セ提案ヲ攻究セシム其ノ解決ヲ待ツ間五萬金「フラン」ヲ「ナンセン」氏ニ前貸スルニ決ス

(四)議題第十九

白耳義對独逸奧地利洪牙利勃牙利混合裁判所判事補ヲ任命ス

(田)智的協力委員長「ベルグソン」ノ提議ニテ「アインシュタイン」ノ代リニ和蘭人 Lorenz 氏ヲ任命ス

(六)議題第九

ハ其ノ審査ヲ次回ニ延期ス

二〇八 四月二十七日
在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨ
リ
内田外務大臣宛(電報)

第二十四回理事会ニ於イテルマニアニ於ケルハンガリー国籍取得者ノ土地収用問題審議ノ件

第一四号(往電第一三号ノ続キ)(四月二十八日接受)
(七)議題第一二

羅馬尼ガ「トランスシルバニア」ニ農地制度改善ニ関スル法律ヲ施行シ「トリアノン」条約第六三条及羅馬尼少數民族保護条約第三條ニ違反シ洪牙利ノ国籍ヲ取得シタルモノノ土地ヲ實価ノ百分ノ二ノ価額ニテ公用徴収シタル件ニ就キ洪牙利ハ右徴収セラレタル財産ノ回復及損害賠償ヲ得ント欲シテ連盟ニ訴フル処アリテ議題トナレルガ嚮ニ理事会議長ヨリ本使ニ報告委員タラン事ヲ求メ来ルヤ其当事国ノ妥協ガ成功セズ大使會議又理事会ノ權限

事ヲ提議シ之ヲ受諾セン事ヲ勸告シタルモ羅馬尼代表依然之ニ応セズ依テ本使ハ報告委員ノ任務ヲ了セルモノト認ムル旨ヲ言明シタル処議長、事務局及本使ノ打合ヲ以テ用意シ置キタル第三案即チ羅馬尼ヲシテ現状維持ヲ約セシメ報告委員ヲ任命シテ次回會議ニ右報告ヲ提出セン事ヲ求ムル案ヲ議長ヨリ提出シタルモ羅馬尼代表ハ法律ノ有効如何ヲ問題トナシ又ハ其執行ヲ停止スルガ如キ提案ハ受諾シ得ズトテ之ヲ拒ミ伊國理事單純ニ延期セン事ヲ提議シ仏理事當事國間ニ妥協成立ノ必要ヲ力説シテ之ニ和シ理事会ハ本件ヲ延期シ次回ニ報告ヲ提出セシムル事其間兩當事國ノ間ニ妥協成立ヲ希望スル趣旨ノ決議ヲ採択シ理事会ハ尚ホ本使ニ依然報告委員タラン事ヲ再三求メタルニ付本使ハ解決ノ至難ナル旨ヲ述ベテ次回ニ本使ノ提出スベキ報告ハ當事國ヲ除ケル満場一致ヲ以テ有効ニ採択セラルベキ事ヲ要求シタル上報告委員タルベキ事ヲ承諾シタリ

本電石井大使ニ御転電ヲ得バ仕合ナリ

ニ屬スル問題ナリトテ洪牙利ノ請求ヲ審査セザリシ結果連盟理事会ノ議ニ上リタルモノナレバ其解決ノ至難ナルヲ思ヒ固辭シタルモ再應懇請セラレタルニ依リ報告委員タル事ヲ受諾シタリ

二十日午後ノ會議ニ於テ當事國ハ一応ノ説明ヲ為シ洪牙利代表ハ羅馬尼ガ農地改良法ヲ施行スル權能ヲ否定セザルモ其條項ハ同國條約上ノ義務ト両立セザルモノアル事ヲ指摘シ羅馬尼代表ハ革命ノ脅威ヲ避ケンガ為有産階級ノ犠牲ニ於テ該法律ハ實施サレタルガ條約ハ洪牙利人ニ特權ヲ与ヘテ羅馬尼ガ等シク同國民ニ適用セントスル法律ノ効力ヲ阻却スベキモノニアラズト主張シ本使トノ非公式會合ニ於テ理事会ノ干涉ヲ好マザル事及同代表ガ承諾シ得ル決定ハ羅馬尼ノ法律ノ効力ヲ認メ唯其適用ニ於テ個人ノ權利ヲ毀損シタルモノアラバ之ヲ調査シテ賠償ヲ支払フ事トスル事ナル旨ヲ述ベタリ

二十三日午後ノ最終會議ニ於テ本使ヨリ各當事國間ニ仲裁約款ヲ結び本件ヲ國際司法裁判所ノ裁定ニ付セン事ヲ提議シ洪牙利ハ之ヲ受諾シタルモ羅馬尼之ニ応セズ依テ第二案トシテ本件ニ関シ國際司法裁判所ノ意見ヲ求メン

二〇九 五月十三日(着)

在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

英國下院委員會ニ於テザール施政委員會ノ公布シ連盟理事会ノ追認シタル臨時命令第二條ノ一定犯罪者処罰規定ヲ不当ナリトシ至急連盟理事会ヲ開キ之カ廢棄ヲナサシムベシトノ提案出テ「ジョン・サイモン」討議ヲ開キ「アスキス」及「ロバート・セシル」之ニ参加ス之ニ對シ文部大臣ハ當時理事会ガ同規定ヲ追認シタル事情ヲ説明シ外務次官ハ右規則ハ下院ニ一人ノ支持者ナク且同規則ハ連盟ノ威信ヲ舉クル所以ナラザルガ連盟理事会ハ十ヶ國代表者ノ關係セル事項ナルニ付仮令明日理事会ヲ開クト雖右規則ニ関シ同會ニ於テ如何ナル決定ヲナスヤハ予測シ難シ云々ト答弁シタルガ反對黨側ノ動機ハ採決ノ結果否決セラレタリ右議事録郵送ス

仏独白ヘ郵報セリ

二一〇 五月十四日 在ベルギー國安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ハンガリー・ルーマニア係争事件ニ関シ日本
大使館ニ於テ内協議會開催ノ件

第九二号 (五月十五日接受)

過般ノ連盟理事会ニ於テ結著ヲ見ルニ至ラザリシ洪牙利、
羅馬尼両國關係ノ事件ニ関シ其後連盟本部ト電報往復ノ結
果同部政務法務ノ両局長立合ノ上本使ヲ座長トシテ右兩國
ノ全權来ル二十三日より当館ニ會合内協議會ヲ開クコトニ
決定セリ、右何等御含迄

二一一 五月十五日(着) 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

英國下院ニ於ケルザール施政ニ關スル外務次
官ノ答弁ニツイテノ觀測報告ノ件

第三二三号

往電第三二三号下院討議ノ際ニ於ケル外務次官ノ答弁ハ英
國側ニ於テ次回ノ連盟理事会ニ「ザール」地方ニ於ケル行
政ノ実況ヲ調査セシムル為獨立ノ調査委員ヲ派遣スベシト
ノ提議ヲナスコトヲ予示スルモノト觀測セラル

In bringing this situation to Your Excellency's knowl-
edge I am instructed by His Majesty's Secretary of
State for Foreign Affairs to enquire whether the Im-
perial Japanese Government will be prepared, at the
meeting of the Council of the League on June 29th
next, to support the suggested enquiry. I should be
very grateful if I might receive a reply at Your Excel-
lency's early convenience.

I avail myself of this opportunity, Monsieur le Min-
istre, to renew to Your Excellency the assurance of
my highest consideration.

Michael Palaret
H.M. Chargé d'Affaires.

His Excellency
Count Yasuya Uchida,
etc., etc.

H.I.J.M. Minister for Foreign Affairs.

二一二 五月二十五日 内田外務大臣ヨリ
在ベルギー國安達大使宛(電報)

英國ノザール施政調査ニ關スル提議ニツキ意

見回電方訓令ノ件

第四三号

在英大使来電第三二二号及第三二三号ニ関シ在本邦英國代
理大使ヨリ二十二日付書翰ヲ以テ英國政府ハ本件ニ付議會

仏、独、白及連盟ニ郵報セリ

二一二 五月二十二日 在本邦英國臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛

ザール施政問題ニ關シ英國ヨリ次回理事会ニ
提出スベキ提議ニ対シ我方支持ノ有無照會ノ
件

第五六号 May 22, 1923.

Immediate

Monsieur le Ministre,

As a result of the last meeting of the Council of the
League of Nations a great deal of attention has been
aroused by the question of the Saar Basin, and doubts
have been expressed as to whether the administration
of that district by the Governing Commission has been
in strict accordance with the spirit and intentions of
the Treaty of Versailles. His Majesty's Government
have given an undertaking to Parliament that this ques-
tion shall be raised at the next meeting of the Coun-
cil of the League with a view to considering whether
the best method of dealing with the matter will be an
impartial local enquiry conducted through the machin-
ery of the League.

ニ約束シタル結果次回理事会ニ於テ本件ニ關スル impar-
tial local enquiry ヲ為サシコトヲ提議スルニ付テハ本件
上議ノ際日本政府ハ之ヲ支持スヘキヤ否ヤニ付問合アリタ
ル処右提議ハ相当理由アルモノト認メラルルヲ以テ我方ニ
於テ之ヲ支持スルモ差支ナカルヘキヤニ一応考ヘラルモ
他方仏白ノ立場ヲモ顧慮スルノ要アルニ付何等御意見アラ
ハ至急電報アリ度シ但シ右提議成立ノ場合ト雖モ日本ハ調
査委員會ニ参加セザル積ナリ御含迄

本電訓令トシテ英、仏、独、參考トシテ伊、連ニ転電アリ度シ

二一四 五月二十六日 在ベルギー國安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール問題ニ關シ次回理事会ニ於テ本邦ノ採
ルベキ態度ニツキ申進ノ件

第一〇六号 (五月二十七日接受)
貴電第四三号ニ關シ

「ザール」問題ハ白國ニ取リテハ死活問題ニ非サルモ仏國
ニ取リテハ対独政策上極メテ重要ナル問題ナル由ニテ四月
理事会ノ際仏國理事「アノトー」カ本使ニ内話セル所ニ依
レハ本問題ハ独リ「ポアンカレ」内閣ノ存亡ニ關スルノミ

ナラス如何ナル内閣ト雖本問題ニ関シ從來同国ノ保チ来レル立場ヲ減却又ハ失墜スルコトアラハ到底瓦解ヲ免レサル所ナルヲ以テ是非トモ「ブランチング」ノ運動ヲ破壊セサルヘカラスト云ヒ又理事会ノ席上「ザール」施政委員會委員長ノ陳述ヲ以テ見ルモ本問題ハ仏国カ対独政策ノ主要ナル一部トシテ最重キヲ置ク所ナルハ明ニシテ尚同委員長ノ説明ヲ聞キタル各国理事ハ委員會ノ措置ヲ一応至当ナリト感シタル結果カ其ノ儘ニナシタル事件ナルヲ以テ此ノ際本件ニ関シ國際的調査ヲ為スハ一応道理ナキコトニハ非サルモ仏国内閣ニ致命傷ヲ与ヘ延テ外交政策ノ大局上現時常ニ仏国ニ追從セサルヲ得サル立場ニ在ル白国ニ取リテモ之ニ類似ノ結果ヲ齎シ意外ノ紛糾ヲ醸サヤモ計リ難シト予想セラルルニ付若シ他ノ事情ニシテ之ヲ許サハ本件カ本邦ニ直接ノ利害關係ナキコトニモ有之旁次回理事會ニ於テハ寧ロ「アプスタンション」ヲ為スコト然ルヘキカト存セラルル何等御参考迄

英仏独ヘ転電セリ

二一五 五月二十八日

在ベルギー國安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ナラズ今ヤ仏国ガ其勢力ヲ特ミ動モスレバ横暴ノ挙ニ出デントスル際ナレバ英國ヲ孤立又ハ少数ノ地位ニ立タシムルコト時局上面白カラズト思考ス將又更ニ大ナル局面ヨリ洞察スルニ世界權力ノ集合ガ現今ノ如クナル間ハ帝國トシテハ常ニ英米ヨリ離レザルコトニ専心注意スルト同時ニ我ニ有利ナル權力平衡ノ回復ニハ露独復興ノ必要ナルコトヲ忘レザルヲ賢明ナル策ナリト信ズ

在歐米各大使ヘ転電セリ

二一七 五月二十九日

在ベルギー國安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ハンガリー・ルーマニア係争事件ニ関シ双方
ノ同意ヲ得タル決議案ヲ理事会ニ提出方決定
ノ件

別電 同日在ベルギー國安達大使宛内田外務大臣宛電報
第一一一号
右決議案

第一一〇号

(五月三十日接受)

往電第九二号洪牙利、羅馬尼係争事件ニ関シ二十五日ヨリ
二十九日ニ亘リ昼夜会合ヲ催シタルカ本件ハ法律問題トシ

ザール施政調査ニ関スル英國ノ提議ニ関シザ
ール行政庁職員内談ノ件

第一〇九号

(五月二十九日接受)

往電第一〇六号ニ関シ「ザール」行政庁ニ属スル一官吏ノ
二十七日内話シタル所ニ依レハ右行政委員長「ルー」氏ハ
英國政府ノ提議セムトスル enquiry ヲ承諾スルモ差支ナ
シトノ説ヲ仏國政府ニ進言シタルカ「ポアンカレー」ハ其
採否ニ付考慮中ナル由ナリ何等御参考迄

英、仏、伊ヘ転電セリ

二一六 五月二十九日

在獨逸日置大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

対独問題ニツイテハ英國ト歩調ヲ一ニスルコ
ト得策ノ旨意見具申ノ件

第一二二号

(五月三十日接受)

歐洲ニ於ケル仏國現今ノ勢力ニ顧ミ「ザール」行政ガ公正
ヲ得居ラザル事ハ勢ノ見易キコトナルモ公正、不公正ノ問
題ハ姑ク別トシ單純ニ帝國ノ利害ヨリ打算シテ対独問題ニ
付テハ我自身ノ利益ニ反セザル限り大体英國ト歩調ヲ一ニ
スルコト利益ナルベク且比較的公正ナラント思考スルノミ

テハ到底之ヲ解決シ得サルコトヲ發見シ實際上ノ問題トス
ルコトニ努メタルモ是亦兩國間ノ一般關係極メテ險惡ノ為
行惱ミタルカ結局連盟各局長ト協力シテ極力調停ノ結果双
方ノ同意ヲ得別電第一一一号ノ如キ決議案ヲ理事会ニ提出
スルニ決定シ兩國全權共満足ノ内ニ相別レタリ

英仏ヘ転電セリ

(別電)

同日在ベルギー國安達大使宛内田外務大臣宛電報第一二二号
右決議案

第一一一号

理事会ハ洪牙利國籍選拔者問題カ洪牙利羅馬尼兩國ノ善隣
關係ヲ乱スノ原因トナラザル様兩國政府ニ於テ最善ノ努力
ヲ為サン事ヲ希望ス理事会ハ洪牙利國政府ガ洪牙利國籍選
拔者問題ニ関スル總テノ誤解ヲ避クル為當事國双方ニ於テ
努力シタル事実ニ鑑ミ洪牙利國民ノ感情ヲ鎮靜スル上ニ最
善ノ努力ヲ為スベク又他方羅馬尼國政府ニ於テ其ノ宣言ニ
係ル諸條約ヲ遵守シ且其ノ農業立法ノ基礎トセリトノ正義
ノ原則ヲ嚴守シテ洪牙利國籍選拔者ノ利益ニ對スル好意ヲ
實現スベキ事ヲ確信ス

在英、仏大使へ転電セリ

二一八 六月五日 在仏国松田臨時代理大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール施政調査ニ関スル英國側提議ニ対スル

仏国側ノ態度通報ノ件

連第一一二号

(六月六日接受)

白宛貴電第四三号ニ関シ

仏国外務省「ジレクシヨンポリチック」局長ヨリ本使宛書束ヲ以テ英國政府ヨリ「ザール」河施政委員会ガ「ベルサイユ」条約ノ精神ニ全然準拠シテ行政ノ任ニ当リ居ルヤ否ヤ疑ヒアルニ付次回理事会ニ其ノ調査計画ヲ提議セント欲スル処仏国政府ハ此ノ提議ヲ支持セラルルヤ承知シ度シトノ問合せニ対シ「ポアンカレー」ハ英國ノ提議ハ施政委員会ノ權威ヲ減少セシム又理事会ハ三度其ノ任期ヲ更新シテ其ノ信任ヲ表白セル委員会ヲ外部ノ批評ニ会シテ忽チ再議スル事ニ依リ其ノ無定見ヲ笑ハルベシ加之「ベルサイユ」条約「ザール」河流域付属書一七ハ理事会ハ委員会ヲ任免スルモ其ノ施政状況ヲ討議スベキ事ヲ予見シ居ラズ且施政委員会ガ実施シタル保安条例ガ同盟罷業ガ政治的性質ヲ帶

ビントスルヲ抑止シテ事態ヲ静穏ニ帰セシメ罷業ヲモ解決セシムルノ功アリタリ而シテ今ヤ委員会ハ該保安条例ノ峻厳ナル条項ヲ削除セントシツツアリテ英國ノ提議ハ全ク當ヲ得ザル趣ヲ答ヘタリ就テハ日本政府ニ於テモ右仏国ノ所見ニ同意セラレ此ノ趣旨ヲ次回理事会ニ於ケル我代表者ニ訓令セラレ度旨申越シタリ本件ニ関シ帝國ハ態度ヲ明ラカニスルノ必要ニ迫ラルルヤ否ヤハ今後ノ成行ニ徴スベキモ右不取敢申進ズ尚四日或ル午餐会ニ際シ外務省商務局長ノ安達大使ニ内話セル処ニ依レバ「セシル」卿ハ頃日内閣ニ入リタル後責任ノ重キヲ感じ本問題ヲ連盟理事会ニ提起スル事ハ連盟ノ健全ナル發達ヲ妨グベキヲ憂ヒ不提出ノ説ヲ主張スルニ至リタル趣倫敦ヨリ内報アリタル由ナリ

英、独、白へ暗号ノ儘郵送セリ

二一九 六月六日 在本邦英國臨時代理大使ヨリ
松平欧米局長宛

ザール施政委員会ノ施政ニ関スル情報ノ提供
及ビ右施政調査ニ対スル日本政府ノ意向通報
方要望ノ件

British Embassy,

Tokyo.

June 6, 1923.

Confidential

Dear Mr. Matsudaira,

With reference to our conversation this afternoon, the following information will, I hope, be useful to you in connection with the Saar Valley question. I must ask you to treat it as strictly confidential.

Among the specific facts which have been brought to the notice of His Majesty's Government in this matter are the following:

1. Criticism has been made of the composition and of the methods of administration of the Governing Commission. It is felt that this Commission is far from impartial and is too ready to adopt the French point of view on every occasion. Out of its five members, 2 have been criticized as lacking the necessary qualifications, while Mr. Waugh, a Canadian, is regarded as the only really impartial member. The opinions and interest of the local population are thus, it is felt, not really represented on the Commission.

2. The chairman of the Commission appears to show a general tendency to fill the administration with French officials and to ignore the opinions of any of his colleagues who differ from him, thus usurping for himself the powers which ought to be exercised by the Commission as a whole.

3. The French troops have been largely increased, the reason given being the protection of mines during a strike; while the Commission has made but slow progress in establishing a local gendarmerie in accordance with the obligations of the Treaty of Versailles.

4. A decree, made ostensibly for the preservation of order, conferring abnormal and drastic powers on the Commission, was passed by the Commission on the mistaken assumption that it had received the approval of the technical committee, a local organization specially constituted to advise the Commission in such matters. This decree was generally condemned in the House of Commons debate of May 10th.

5. On May 2nd a further decree prohibited "peaceful picketing" under heavy penalties, although the perfect legality of this practice is recognized in England, Ger-

many and many other countries. It is felt that it has been an entire mistake to deal with the industrial dispute by such measures as the two above-mentioned decrees, the operation of which no doubt form part of the enquiry which it is proposed to make.

I hope that a perusal of these facts will convince the Japanese Government of the need of such an enquiry, and that you will be able to inform me of their decision at an early date.

Your sincerely,

Michael Palaret

T. Matsudaira Esq.,

Ministry of Foreign Affairs.

二二〇 六月六日 内田外務大臣ヨリ
在英国林大使宛(電報)

英国ノザール施政調査提議ニ対スル意見並ビ
ニ本件ニ関スル電通報道ノ真偽回電方訓令ノ
件

第一五六号 至急
在白大使宛往電第四三三号ニ関シ

障ナク纏ル可シト思ハル何等御参考迄

英仏へ転電セリ

二二二 六月十日(着) 在英国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール施政調査ニ関スル英国ノ方針ハ変更ナ
キモノト思考サルル旨報告ノ件

第三八六号

(五十六号カ)
貴電第一五八号ニ関シ

(一)徳川八日外務省ニ赴キタル序ヲ以テ中欧部員ニ就キ聞尋シタル所ニ依レバ英国政府ハ問題ノ命令ノ取消乃至ハ既ニ反対運動者ニ科シタル処罰ヲ取消スト否トニ拘ハラズ本件調査委員会ノ設置ハ次回ノ理事会ニ飽迄提出ニ決定シ居ル趣ナリ御来示ノ電通ハ何ニ基キタルモノナルヤ不明ナルガ五日ノ「デリー・テレグラフ」ハ本件問題ノ命令ヲ取消スコトニ依リ本件ヲ解決スルコトヲ英国政府ニ於テ内諾セリトノ報ハ全然虚報ニシテ英国政府トシテハ議會ニ対シ本件委員会ノ組織ヲ理事会ニ提出スルコトニ付明確ニ「コンミット」シタル以上之ヲ変更スルノ余地ナキモノナリトノ記事ヲ掲ゲタルガ右ハ外務省ト密接ナル關係ヲ有スル外交

英国側ハ取急ギ回答ヲ得度キ希望ヲ有スル模様ナルニ付テハ貴見至急電報アリ度シ

尚三日貴地發電通ニ依レバ「カーゾン」ハ「若シ仏国ニシテ「ヴェルサイユ」条約及連盟委員会ニ対スル反対運動者ニ課セラレタル体刑及重刑ヲ取消スニ於テハ英国ハ本件調査委員会設置ノ件ニ付キ譲歩スベキ」旨在英仏国大使ニ通告シタル趣ナルガ在仏代理大使来電連第一一二号末段「セシル」卿ノ意見云々ノ点ト共ニ真相御探査相成回電アリ度シ

本電参考トシテ仏、白、独、伊ニ転電アリ度シ

二二一 六月八日 在ベルギー國安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ハンガリー・ルーマニア係争事件ニ関シ在白
両国使節安達大使ノ尽力ニ謝意表明ノ件

第一二〇号 (六月九日接受)

洪牙利羅馬尼亞係争事件ニ関シ在白洪牙利代理大使及羅馬尼亞公使ハ八日各別ニ本使ヲ訪問シ各々本国政府ノ訓令ニ依リ本件ニ関スル本使ノ尽力ニ対シ深ク感謝ノ意ヲ表スル旨ヲ述ベタリ就テハ本件ハ次回ノ理事会ニ於テモ何等ノ支

記者ノ探訪ニ係ルノ事実ト前記外務省員ノ談話トヲ対照ス

レバ英国政府ノ方針ノ前頭ノ通りナルコトハ疑ヒノ余地ナキヤニ思考セラル尚「セシル」卿ノ意見云々ハ同卿入閣以來外間ニ斯ノ如キ意見ヲ發表シタルコトナキト同卿ノ目下英国ヨリ不在中ナルノ事実トニ依リ探査ノ方法ナキモ前頭ノ事情ニ鑑ミ多分真実ニ非ザルベシ

(二)次ニ本使トシテハ理事会ニ列スル以上決議ニ加ハルコトヲ差控フルコトハ面白カラズ而シテ可否ヲ云フトスレバ英國側ノ提議ヲ支持スルコトニ致シタシト存ズ

在欧洲各大使へ転電セリ

二二三 六月十日(着) 在英国林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール施政調査ニ関スル電通報道ニツキ回報
ノ件

第三八九号

往電第三八六号ニ関シ当館員カ当地仏国大使館一等書記官「カンボン」ニ就キ御来示ノ電通報報所報ノ真否ヲ確メタル処「カーゾン」卿カスノ如キコトヲ在英仏国大使ニ通告シタリト云フカ如キコトヲ承知セスト明言セル趣ナリ

二二四 六月十日(着)

在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール施政調査ニ関スル電通報道ニツキ同通

信ノ経路調査回電方要請ノ件

第三九〇号

貴電第一五六号御来旨ノ電通云々ニ関シ当地ニハ電通社特派員ナキ模様ニテ又同社ト通信關係ヲ有スル「ユーナイテッド・プレス」当地支店ニ就キ右発信ノ有無ヲ取調タルモ御来示ノ如キ通信見当ラス就テハ同社宛当地発ノ通信ハ如何ナル経路ヲ通スルモノナリヤ同社当地通信員ノ有無ト共ニ同社ニ就キ御取調ノ上御回電アリタシ

二二五 六月十二日

内田外務大臣ヨリ
在英國林大使宛(電報)

電通通信ノ経路ニ関シ回報ノ件

第一六二号

貴電第三九〇号ニ関シ

電通ハ欧州情報モ多クハ紐育ノ「ユーナイテッド・プレス」ヨリ受ケツツアリ「ユ」社本社ヨリハ同社通信以外ノ種ヲモ供給シ来ルコトアル処倫敦或ハ伯林発ト記セル場合

本電參考トシテ在欧各大使ニ転電アリ度シ

二二七 六月十三日

内田外務大臣ヨリ
在本邦英國臨時代理大使宛

ザール流域施政ノ審査ニ関スル英國側問合ニ

回答ノ件

欧二普通第七二号

以書翰致啓上候陳者去ル五月二十二日付貴翰第五六号ヲ以テ最近ノ連盟理事会以来「ザール」流域問題カ多大ノ注意ヲ惹クニ至リタル結果英國政府ハ議會ニ対シ次回理事会ニ於テ連盟機關ニ依リ公平ナル地方的審査ヲ行フノ可否ニ付審議ヲ求ムベキ旨ノ約束ヲ為シタルニ付テハ来ル六月二十九日ヨリ開カルヘキ理事会ノ席上日本政府ニ於テ本件調査ノ提議ヲ支持スルノ意向アリヤ否ヤ御問合相成敬承致候
日本政府ハ同地域ノ行政力厳正ニ「ヴェルサイユ」条約ノ条項ニ準拠シテ行ハルヘキ様監視スルコトハ同条約署名国トシテノ義務ナリト信スルヲ以テ苟モ此ノ点ニ関シテ疑惑ヲ招キタルノ事実アルニ於テハ理事会ニ於テ之ガ対策ニ付充分隔意ナキ意見ノ交換ヲ行ヒ必要ト認ムル場合ニハ或ハ地方的審査ヲ遂グルコト適當ナルヘシト思量致候就テハ次

ニモ事実上紐育發電タルコトアリ本件ノ如キ其一例ナリ

二二六 六月十二日

内田外務大臣ヨリ
在仏國石井大使宛(電報)

ザール施政調査ニ関シ英國ニ対スル回答振通

報及ビ次回理事会ニ於テ同趣旨ニ依リ措置ス

ベキ旨訓令ノ件

第三三四号

在白大使宛往電第四三号ニ関シ

在本邦英國代理大使ニ対シ「日本政府ハ「ザール」流域ノ行政力厳正ニ「ヴェルサイユ」条約ノ条項ニ準拠シテ行ハルヘキ様監視スルコトハ同条約署名国トシテノ義務ナリト信スルヲ以テ苟モ此ノ点ニ関シテ疑惑ヲ招キタルノ事実アルニ於テハ理事会ニ於テ隔意ナキ意見ノ交換ヲ行ヒ必要ト認ムル場合ニハ或ハ地方的審査ヲ遂クルコト適當ナルヘシト思考スルニヨリ次回理事会ニ於テハ我理事ハ各国理事ト協調ノ精神ヲ以テ最モ妥當ナル解決ニ努力スル様訓令ス」ベキ旨回答シタルニ付テハ貴官ハ右ノ含ヲ以テ會議ノ形勢ニ応シテ可然御措置相成度シ尚在白大使宛第四三号末段参照アリタシ

回理事会ニ於テ貴國理事カ本件ヲ提議セラルルニ当テハ本邦理事ハ各理事ト協調ノ精神ヲ以テ最モ妥當ナル解決ニ努力スル様訓令致スヘク右回答申進旁々本大臣ハ茲ニ重テ貴下ニ向テ敬意ヲ表シ候 敬具

二二八 六月十三日

在仏國石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール施政委員會ノ治績審査ニ関シ本邦側ノ

採ルベキ態度ニツキ意見具申ノ件

連第一三二号

(六月十四日接受)

「ザール」施政委員會ノ治績ヲ審査セシメントスル英國ノ提案ハ本月末開會理事会ノ最モ厄介ナル問題ナルベク尤モ「ザール」委員會ハ今十二日付ニテ命令取消シ又ハ緩和ノ処分ニ出ズル由ニ付英政府ガ之ヲ以テ満足スルカ然ラズトスルモ英、仏ハ目下本件交渉中ノ由ナレバ何時妥協スルヤモ計ラレズ此際ウカト一方ヲ支持スル態度ヲ定ムルハ右妥協ノ場合ニ面目ヲ損スル虞アルニ付暫ク成行ヲ俟タル方然ルベシト存ズ若シ双方トモ本件ヲ理事会ニ於テ飽迄モ争フ場合トナラバ本使ハ(「ベルサイユ」条約上施政委員ヲ任免スルノ權能アル連盟理事会ハ当然該委員會ノ治績ヲ審

査スルノ權限ヲ有スト認ムルヲ穩当トスベキガ如シ何ントナレバ審査ヲ經ズシテ委員ヲ免黜スルコト能ハザレバナリ
(二)然レドモ此ノ点ニ關スル條約解釈ニ付英仏間ニ意見ヲ異ニスル以上理事会ハ先ヅ以テ常設司法裁判所ノ法律上ノ意見ヲ徵スルヲ至当トストノ理由ニ依リ本件ヲ同裁判所ニ付託スル案ヲ提議セント欲ス斯クシテ本件ヲ長引カス中ニハ英仏間ニ妥協ヲ見ルヤモ知レズ又妥協ノ場合ニ置イテキボリヲ喰フ虞ナカルベシ右態度御承認ヲ俟ツ
在歐各大使ヘ転電セリ

二二九 六月十四日 在パリ松田連盟事務局長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二十五回理事会臨時議題報告ノ件

連第一三七号 (六月十五日接受)

二十九日ヨリ開会ノ第二十五回臨時議題左ノ順

1. Constitution of the Advisory Committee on international administration, Danzig and the Saar questions.

2. Danzig questions:

(a) Financial situation of the Free City.

4. Interpretation of Article 4 of the Treaty of June 28th, 1919 between the Principal Allied and Associated Powers and Poland.
5. Minorities in Latvia.
6. Minorities in Esthonia.
7. Report of the Financial Committee.
8. Report of the Economic Committee.
9. Reconstruction of Austria, 4th, 5th, and 6th reports of the Commissioner-General including the statement of progress of reforms, and of the issue of long terms loan.
10. Greece, settlement of refugees and proposed loan.
11. Report of the Advisory Committee on traffic in opium.
12. Traffic in women and children, appointment of experts on the Commission of Enquiry.
13. Report of the Health Committee.
14. Bulgarian inhabitants of western Thrace, letters from the Bulgarian Government, May 12th, 1923.
15. Expropriation by the Roumanian Government of property of Hungarian optants.
16. Reduction of armaments:

- (b) Establishment by Poland of railway direction in Danzig.
- (c) Property to be transferred to the Harbour Board under Article 25 of Polish-Danzig Treaty of November 9th, 1920.
- (d) Visa fees for Danzig nationals when crossing the Polish frontiers.
- (e) Financial situation of Danzig Harbour Board, decision of the High Commissioner, April 29th 1923.
- (f) The power of the Danzig Harbour Board to contract loans, decision of the High Commissioner, May 24th 1923.
3. The Saar Valley, proposal by the British Government:
 - (1) To draw attention to the décrets of March 7th (Maintenance of order) and May 2nd (Picketing);
 - (2) To propose an enquiry as to whether the administration of the Saar Basin by the Governing Commission has been in accordance with the spirit and terms of the Treaty of Versailles.

- (a) Report of the Temporary Mixed Commission;
- (b) Report of the Permanent Advisory Commission on Resolution XIV;
- (c) Appointment of an economic expert to replace M. Viltredo Pareto on the Temporary Mixed Commission;
- (d) Extension to States non-members of the League of P. A. C. technical scheme for reduction of naval armaments.
17. Amendment to Article 10 of the Covenant.
18. Slavery resolution of 3rd Assembly.
19. Financial question:
 - (a) Second annual report of the Supervisory Commission.
 - (b) Auditor accounts for the 4th fiscal period (1922).
 - (c) Budget for 6th fiscal period (1924) secretariat and special organization of the League.
 - (d) Cost of living at Geneva, report adopted by the Supervisory Commission on May 9th, 1923.
 - (e) Report of the Committee on Allocation of Expenses.

二二〇 六月十九日 在ジュネーヴ安達連盟理事会代表ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ルーマニアトノ係争事件ニ関シハンガリー側
ヨリ理事会決議案ヲ廢シ國際司法裁判所ニ付
託提議方要求ノ件

第一号 (六月二十日接受)

六月十四日洪牙利国外務次官突如來訪同国外務大臣ノ本使
ニ宛テタル公文ヲ示シ客月二十九日武府ニ於テ成立シタル
洪牙利羅馬尼問題ニ關スル理事会決議案ハ洪牙利國全權カ
其委任權限ヲ越ヘテ承諾シタルモノナル事ヲ述ベ次回理事
會ニ於テハ本使ニ於テ右決議案ヲ廢シ前回理事会ニ於ケル
ト同様本件ヲ國際司法裁判所ニ付託スルノ提議ヲ為サン事
ヲ求メタルヲ以テ本使ハ連盟事務局側並石井理事トモ充分
協議ノ上全權委任狀ヲ有スル全權カ政府ノ名ニ於テ承諾署
名シタル決議案ヲ政府ニ於テ取消スガ如キハ國際慣例ニ戻
ルノミナラズ益々時局ヲ紛糾セシムルニ過ギザルモノナル
ヲ以テ次回理事会ニ於テハ矢張り武府協定ニ基ク決議案ヲ
提出シ其採決ヲ求ムルニ決シ十六日其旨並次回理事会ニ於
ケル本件報告者ガ石井理事ナリヤ本使ナリヤ未定ナルモ石

二二三 六月二十二日(着) 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール地方ニ調査委員派遣方ニツキ英國下院
ニ於テ質疑応答ノ件

第四一七号

往電第四一四号ニ関シ

二十日ノ下院ニ於テ「スノーデン」ハ若シ仏國側ニ於テ連
盟理事会ハ「ザール」地方ニ調査委員ヲ派遣スル權利ナシ
ト主張セルコトアラハ英國代表ハ「ザール」委員會ノ地位
並連盟理事会ノ「ザール」委員會ニ對シテ有スル權利及權
能ノ問題ヲ常設國際司法裁判所ノ決定ニ付スヘキコトヲ要
求スヘキヤト質問シタルニ外務次官ハ右ハ未タ實際問題ト
ナラサル事態ナルニ付斯ル場合ニ於ケル英國代表ノ態度ヲ
言明スルコト能ハサル旨ヲ答弁セリ

二二三 六月二十七日 在ベルギー國安達大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ハンガリー・ルーマニア係争事件ニツキ再ビ
ジュネーヴニテ処理ニ当ル場合合同地出張承認
方要請ノ件

井理事ニ於テモ本使ト全然同意見ナル旨ヲ記載セル覚書ヲ
同次官ニ手交シタル処同次官ハ然ラバ次回理事会ニ於テハ
洪牙利國代表ノ權利ヲ留(脱)スル旨ヲ宣言セザルヲ得ザ
ルニ到ルベシト述べ十八日帰國セリ
在歐各大使ヘ暗号ノ儘郵送セリ

二三一 六月二十日(着) 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール施政問題ニ関シ英外務次官下院ニ於テ
答弁ノ件

第四一四号

往電第三八六号前段ニ関シ

外務次官ハ十八日ノ下院ニ於ケル質問ニ答ヘ英國政府ハ國
際連盟事務局總長ニ對シ次回ノ連盟理事会議題中ニ(一)本年三
月七日及五月二日ノ「デクレ」ニ對シ注意ヲ喚起スルコ
ト(二)施政委員會ニ依ル「ザール」地方ノ行政ハ「ヴェルサ
イユ」條約ノ精神及條項ニ合致セリヤ否ヤニ關シ調査方ヲ
提案スルコトノ二件ヲ加フヘキコトヲ要請シタル旨ヲ發表
セリ

仏白ニ転電シ独伊ニ郵報セリ

第一三八号 (六月二十八日接受)

匈牙利羅馬尼事件ハ往電第一一〇号及第一二〇号上申ノ通
リ当地ニ於テ円満解決ヲ得タリシ処匈牙利政府ニ於テ其後
態度ヲ豹変シタル為壽府拙電第一号上申ノ通りノ状態ト相
成タルガ石井大使不日壽府ニ至リ形勢觀測ノ結果若シ本使
再ビ壽府ニ戻リ自ラ本件ノ処理ニ当ルニ於テハ満足ナル始
末ニ至ルベシト認メラルルニ於テハ本使直ニ壽府ニ出張ス
ルコト然ルベシトノ同大使ノ意見ニ之有リ本使ニ於テモ右
ハ行懸上余儀ナキコトト存ゼラル就テハ右出張ノ件予メ御
承認ヲ請フ

二三四 六月二十九日(着) 在英國林大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ハンガリー公使ヨリルーマニアトノ係争ニ関
スル理事会決議案ハ認メル能ハザル旨ノ覚書
受領ノ件

第四三四号

本使發仏宛電報第四〇九号

壽府安達大使發大臣宛電報第一号ニ関シ

二十八日在英匈牙利公使本使ヲ來訪客月二十九日ノ匈牙利

羅馬尼問題理事会決議案ハ匈牙利代表者ニ於テ調印ノ権限無キニ拘ハラズ之ニ「イニシヤル」ヲ書シタルモノニシテ匈牙利政府トシテハ到底之ニ束縛セラルル事ヲ認メル能ハザルモノナリトノ事情ヲ説明シ右ノ事実ヲ記シタル覚書ヲ手交シ且実ハ外間ニ対シテハ体裁悪キ内情ナルガ右代表者ハ當時酒ヲ過シ居リ醉余羅馬尼代表ヨリ説付ケラレ右ノ如キ事ヲシデカシタル次第ヲ内話シタルニ付本使ガ理事会ニ於テ本邦ヲ代表スル地位ニアラザル事右本邦代表者ハ閣下ナリト思惟スル旨ヲ告ゲタルニ同公使ハ自ラ巴里ニ赴キ閣下ニ面会篤ト事情ヲ具陳スベキ旨ヲ述ベタリ覚書ヲ郵送ス本使ニ於テハ閣下御帰任ノ上ハ理事会ニハ閣下御出席ノ義ト思惟シ右ノ通り同公使ニ答ヘタル次第ナリ

(本電外務大臣並在寿府安達大使へ転電セリ)

二三五 六月三十日 在ジュネーヴ石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二十五回連盟理事会追加議題報告ノ件

第一号 (七月一日接受)

理事会追加議題左ノ如シ

1. The appointment of Chairman of the Customs Con-

二三六 七月三日 在ジュネーヴ石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第二十五回理事会開会並ビニザール問題ノ審

議及ビ經濟、財政兩委員會ノ報告了承等報告

ノ件

(第二号ノ誤リカ)
第一号 (七月四日接受)

七月二日午前第二十五回理事会開会英国ヨリ「セシル」卿出席シ都合ニ依リ白耳義伯刺西爾「ウルガイ」理事ヨリ代理ヲ出セル外顔触レ前回ニ同シ

劈頭「ザール」ニ関スル英国ノ提案ノ審議ニ入ルヤ「セシル」卿ハ議事ノ公開ヲ主張シテ其必要ト利益トヲ高唱スレハ Hanotiaux 氏ハ秘密会ヲ以テ円満妥協ニ至ルノ秘訣ナリトシテ之ニ反对シ本使ヨリ理事ノ其声明ヲ任意新聞等ニ發表スルノ自由ヲ与フルコトトシテ暫ク本件ヲ秘密会ニテ議スル様調停ヲ試ミ一時全部ノ賛同アリタルモ未確定ノ儘閉会セリ然ルニ其後ノ直接交渉ニ依リ英仏理事間ニ妥協成リ午後ノ會議ニ於テ三日午前ノ公開會議ニ於テ本件ヲ審議スルコトナレリ

- ference.
2. The appointment of Chairman of the Transit Conference.
3. The appointments and resignations on the secretariat.
4. The nomination of Professor Attoico and Doctor Niobe as the Deputy Secretaries General (Mr. Salandra's proposal)
5. The financial question.
 - (A) The financial arrangements for the erection of the new International Labour Office buildings.
 - (B) The budget of the communications and transit organisation.
6. The Danzig questions.
 - (A) The competence of the high commissioner of the League of Nations.
 - (B) The note from the Polish Minister for Foreign Affairs concerning the general question of differences which have arisen between Poland and Danzig.
7. The pension for the judges of the Permanent Court.
8. The Russian refugees.

午後ノ會議ニ於テ第九回經濟委員會ノ報告ヲ是認シ特ニ商事契約仲裁条項ハ總會ノ議題ニ供シ之ヲ審査ノ上調印スル様各国ヲ招請シ外国人及ヒ外国企業待遇ニ対スル勸告案ハ之ヲ立法及ヒ条約締結ノ基準トナス様各国ニ勸告スルニ決ス次ニ財政委員會ノ報告ヲ諒承シ特ニ二重課税問題ニ関スル財政學者四名ノ税種毎ニ之ヲ徵收スヘキ國ヲ定メタル報告ヲ承認シ一般原則ヲ定ムル万国条約及細則ヲ規定スル相互条約案ノ準備ニ著手セントスル七名ノ政府代表カ十月ノ會合ニ於テ其事業ヲ成就スル様希望ヲ述ヘ奥国救済問題ニ関シテハ長期公債募集ノ成功ニ満足シ Timmerman 氏モ第四及第五報告ヲ諒承シ其行政改革及歳出入平均ニ関スル計画ノ著々実現セラレツツアルヲ見テ奥國ニ対シ祝意ヲ表ス

二三七 七月四日 在ジュネーヴ石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザール施政問題ニ関シ英仏兩代表応酬ノ件

第三号 (七月五日接受)

三日午前ノ理事会ニ於テ「セシル」卿ハ「ザール」河流域ニ関スル「ベルサイユ」条約ノ条章ヲ引キテ施政委員會ガ

連盟ノ委任ニ依リ独逸政府ヨリ移転セラレタル行政權ヲ行使スルハ仏國ノ鉱山採掘權ヲ擁護シ且住民ノ權利及安寧ヲ保持スルヲ目的トセリ然ルニ保安條例及其ノ緩和セラレタル新保安條例並 Picketing 禁止命令ノ施行ハ當ヲ得ズ仏國軍隊ノ多數駐屯シ地方憲兵ノ養成遲延セルコト法ヲ唯一ノ通貨トシテ採用セルコト、議長ガ一国ノ政府ト特別ノ關係ヲ保持シ且專横ニシテ他ノ委員ヲ無視セルコト民意ノ顧ラレザルコト等ハ條約ノ精神ニ適合セザルモノニシテ之ヲ審査シ矯正スルハ連盟ノ責任ナリ右審査ノ方法トシテハ調査委員ヲ任命シ派遣スルコト「ジュネーブ」ニ於テ調査ニ從事スル委員會ヲ任命スルコト及施政委員會全部ノ立會ヲ認メテ理事会自ラ審査ニ從事スルコトノ三案アル処前二者ハ施政委員會ノ威嚴ニ關スルヲ以テ第三案ヲ提議セント欲スト述ベ Hanotaux 氏ハ過去ノ理事会及總會ニ於ケル英國其ノ他ノ代表者ガ施政委員會ノ事業ヲ賞賛シ其ノ Libéralisme ニ對シ信頼ノ意ヲ表セル声明ヲ列挙シ「セシル」卿ノ指摘シタル失政ニ關シ一々委員會ノ措置ヲ弁護シタル上英國理事ノ穩當ナル提議ニ對シテハ之ヲ考慮スルヲ辭セズト応酬シ Branting 氏ハ特ニ施政委員會ト住民トノ

之ヲ諒承スルニ止ム尚一九二四年予算ニ更ニ削減ヲ加フル様事務總長及監督委員會ニ要求セントスル仏國ノ提議ハ之ヲ決議ト為サス「アノトー」氏ノ説明及「セシル」卿及事務總長ノ反對意見等併セテ之ヲ連盟國ニ送付スルニ決ス二、國際行政委員會設置ノ件ハ再ヒ次會ニ延期ス三、規約第十條改正ニ關スル加奈陀ノ提議ニ關シテハ各國ノ回答ヲ次回總會ニ伝達シ右提議ヲ根本的ニ審査スル手續ノ決定ハ之ヲ後日ニ譲ルコトトス四、「エストニア」カ連盟加入ノ条件トシテ少数民族保護條約上ノ原則ヲ受諾スヘシトノ總會ノ決議ニ關シ同國力憲法上ノ保障ヲ与フルヲ以テ足レリトシ國際的義務ニ服スルヲ欲セサル件ハ總會決議ノ解釈問題ニ歸スルヲ以テ同國ト理事会トノ交渉ノ經過ヲ叙シタル報告ヲ總會ニ提出ス尚本件カ總會ノ開會迄ニ如何ナル經過ヲ執ルカヲ審ニスル為之ヲ次回理事会ノ議題ニ供スルコトトス六、「ダンチッヒ」ニ關スル諸問題ニ付報告委員ノ説明及「ダンチッヒ」波蘭兩代表ノ声明ヲ聴取シタル上決定ヲ後廻トス「ダンチッヒ」市ニ五十万金貨馬克ノ募債ヲ許ス件ニ付テハ賠償委員會ニテ自己ノ債權ニ對シ何等保障ヲ要求セサルコトナレルヲ以テ大使會議ニ十分ナル説明ヲ与ヘ

間ニ信頼協力ノ關係ノ欠如セルコトヲ挙ゲテ住民ノ代表者ヲ理事会ニ招致センコトヲ希望シタルガ結局英仏理事協議ノ結果英國ノ提議ニ基キ「ザール」地方最近ノ事態ノ審査ヲ今理事会中ニ終結センガタメ必要ナル文書ヲ携ヘテ施政委員會全部ノ直ニ理事会ニ出席センコトヲ求ムル旨ノ決議ヲ全会一致可決シタリ午後ノ會議ニ於テハ軍縮問題ヲ議シ往電連第一四六号ニ關シ其ノ一ヲ是認シ其ノ二ニ關シ再度統計提出方ヲ各國ニ請求シ其ノ三ニ關シ合衆國ノ回答ノ來ルヲ俟ツコトトシ其ノ四ニ關シ之ヲ承認シ關係國政府ニ對シ要求スルコトトス

二三八 七月五日 在ジュネーヴ石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

連盟財政、規約第十條改正、エストニアノ加
盟、ダンチヒ問題等審議ノ件

第四号 (七月六日接受)

四日午前及午後ノ會議ニ於テ左ノ件ヲ議スス一九二二年決算及一九二四年予算ニ關スル監督委員會ノ報告ヲ諒承シ之ヲ總會ニ送付スルコトトシ生活費ニ關スル監督委員會ノ修正セラレタル報告ヲ總會ニ送付シ經費分担委員會ノ報告ハ

其承認ヲモ取付クル様事務總長ニ委嘱シ尚「ダンチッヒ」市カ新通貨ヲ採用スルコトアル旨ヲ諒承ス

二三九 七月六日 在ジュネーヴ石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ハンガリー・ルーマニア紛争、奴隸及ビギリ
シャ避難民救済問題等討議ノ件

第五号 (七月七日接受)

五日午前及午後ノ會議ニ於テハ主トシテ洪牙利羅馬尼紛争事件ヲ議シ安達大使前回ヨリ本件ノ報告委員タル關係上本使ニ代リ出席ス同大使ヨリ「ブラッセル」協定ニ基ケル報告ヲ提出シ洪牙利政府ヨリ武府會議ニ於ケル代表者ガ越權ノ行為ニ出デタルコト及熟考スルニ不適當ナル状態ニ誘ハレテ該協定ニ調印シタルコトヲ理由トシテ右協定ヲ否認シ來レルモ尚前記ノ報告ヲ維持スル旨ヲ述べ洪牙利代表 Apponyi 伯ハ武府協定ハ何等問題ノ根本的解決ヲ結果セズトテ羅馬尼ノ國際法違反ヲ指摘シ農地改良法ガ「トランシルヴァニア」ニ於ケル optans hongrois ニ對シ不公平ナルコトヲ詳細説明シテ國際司法裁判所ノ判決又ハ意見ヲ求ムルノ決議ヲ採択セムコトヲ理事会ニ懇談シ羅馬尼代表

Chichuresuko ハ本件ハ武府協定ニ依リテ解決セリト為シテ之ヲ維持セムコトヲ主張シタルガ次第係争國ヲ除ケル秘密会ニ入り充分ノ理由ナクシテ全權委員ノ協定ヲ覆サムトスル洪牙利ノ主張ヲ非ナリトシテ報告委員ノ報告ヲ是認スルニ決定シタル後再び公開會議ヲ開キテ右決定ヲ票決ニ問ヒ全会一致可決セラレタルガ洪牙利代表ハ棄權シテ如何ナル政府モ其國民ノ權利ヲ擁護スルノ責務ヲ拋棄スルコト能ハザルコト及將來平和條約及連盟規約ニ予見セラレタル各種ノ手段ニ訴ヘテ満足ナル解決ヲ得ムト欲スル旨ヲ聲明セリ

猶奴隸問題ニ関シテハ各國ノ回答ヲ總會ニ送付シ且事務總長ヲシテ非連盟國ニ對シテモ質問書ヲ發セシムルコトトシ又近東ヨリ來レル希臘避難民救済問題ニ関シテハ英仏伊理事及希臘代表及之ニ協力セル專門家ノ報告ニ基キ希臘ノ提供スル保障ハ充分ト認メラルルニ付之ヲ一八九八年以降存在スル國際財政委員會ニ管理セシメ右ニ基キ内外市場ヨリ募債シ收入アリタル時ハ右收入ガ避難民ヲ生産事業ニ従事セシメテ救済ノ目的ヲ達セシムル為之ガ管理委員會ヲ任命スルノ用意アルコト及差当リ救済事業ヲ繼續スルガ為ニ

述ニ干涉シ白耳義委員ハ同盟罷業當時ノ不穩狀態ヲ述ヘテ議長ニ同情シ「ザール」代表委員ハ「ブランチング」氏ノ質問ニ對シ住民ノ福利ヲ増進センカ為良心ノ命スル処ニ從ヒ去ル五月任命ヲ受諾シタルカ保安條例ニハ棄權シPickering 禁止令ニハ賛成シタル理由ヲ述ヘ斯テ全七時間ニ亘リ質問応答アリタル後審査會ヲ閉チ懇談會ニ入り七日午前ノ會議ニ於テモ亦之ヲ続ケ「セシル」卿ノ提案ト「アノト」氏ノ意見ヲ折衷シテ「イーマンス」氏ヨリ決議案ノ提出アリ「セシル」及「ブランチング」氏ハ其仏蘭西政府ヨリ獨立ナルコトヲ力説セサル点、地方憲兵ノ要請ニ関シ充分ノ(不明)要求セサル点及ヒ民意ヲ容レシムルノ方策ヲ示ササル点ニ付不満足ナルモ之ヲ一個ノ希望トシテ聲明スルニ取極メ右決議案ニ同意スル処アリ斯テ全会一致可決セラレタル決議ヲ午後ノ會議ニ於テ發表シタリ右決議ハ條約ニ基ケル施政委員會ノ二大任務ヲ列挙シ委員會ハ連帶責任ニシテ議長ハ委員會ノ実行委員タルコトヲ高調シ五月七日ノ保安條例ハ廢止セラルルヲ以テ論ヲ避ケ其他ノ非常手段ニ出テタル命令ヲ改廢スル様希望シ仏蘭西法ヲ唯一ノ通貨トシテ採用シタルコトハ經濟上適(脱)ノ施政タルコトヲ

「ナンセン」博士米国慈善団体代表一人及希臘政府代表一人ヨリ成レル委員會ヲ任命スルコトヲ決議ス

二四〇 七月九日 在ジュネーヴ石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

ザールノ施政ニ関スル審議及ビ決議ノ件

第六号 (七月十日接受)

六日午前及ヒ午後ノ會議ニ於テハ「ザール」施政委員會員全部出席終日其施政ノ審議ニ従事ス「セシル」卿ハ三日ノ會議ニ於テ英國提案ノ趣旨ヲ説明シタル場合ニ列挙シタル諸点ニ付施政委員會議長ニ詳細質問ヲ試ミ議長カ專横ニシテ委員會ノ合議体タルコトヲ無視セルノ事實、予算案ヲ先ツ仏國政府ニ提出スルコト等ニ依リテ其(不明)ヲ入レツツアルノ事實、議長カ速カニ地方憲兵ノ治安維持ニ必要ナル數ヲ要請シテ仏國軍隊ヲ撤退セシムルノ誠意無キノ事實及ヒ住民ノ意思ヲ尊重セサルノミナラス保安條例 Pickering 禁止令ノ乱暴ナルコトヲ暴露スルニ努メ加奈陀委員ハ議長ガ連盟ヲ輕視シ民意ヲ蔑視シ同僚ヲ無視シ仏國政府ニ迎合セルノ事實ヲ列挙シ委員會内部ノ不調和ヲ立証シタルカ「アノト」氏ハ始終議長ヲ支持シテ加奈陀委員ノ陳

認容シ理事会カ屢々憲兵ノ要請ニ依リ外國守備隊ノ撤退ヲ見ルニ至ランコトヲ要望セルノ事實ヲ指摘シ最後ニ委員等カ過去ノ事業ヲ稱賛シ其使命ノ達成ニ支持ヲ惜マサルヘキ旨ヲ述ヘタリ

二四一 七月九日 在ジュネーヴ石井大使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

婦人兒童問題調査委員任命、ポーランド・ダンチヒ問題、アヘン委員會報告等議了、第二

十五回理事会終了ノ件

第七号 (七月十日接受)

七日午前及午後ノ會議ニ於テハ婦人兒童問題調査委員任命ノ件及左ノ諸件ヲ議了シ玆ニ第二十五回理事会ハ終了ヲ告ゲタリ

一、波蘭「ダンチヒ」間ニ紛議益々多キヲ加ヘ國交頗ル緊張シ來リタルガ理事会ハ兩國政府ガ共通ノ利害ニ顧ミ交譲妥協ノ態度ニ出デントヲ切望シ高級委員ノ庇護下ニ交渉ヲ続ケ次回理事会ニ円滿解決ノ結果ヲ齎サンコトヲ期待スル旨ノ報告ヲ可決シ之ヲ兩國政府ニ送付スルコトトス
二、阿片委員會ノ報告ニ関シテハ報告委員ヨリ之ヲ是認シ

テ總會ニ回付シ其協力ヲ求メ且右委員會ノ報告ヲ直ニ各国ニ送付シテ次回總會ニ臨ム可キ全權委員ニ右報告中ノ勧告実施ヲ目的トスル協定ヲ遂グル為メ必要ナル訓令ヲ与フル様招請スルノ決議案提出セラレタル処ニ對シ西班牙理事ハ自国政府ノ最後ノ決定權ニ付留保シ伊国理事之ニ賛成シ支那理事ハ阿片委員會ノ事業特ニ米国委員ノ貢獻ヲ感謝シ理事會ガ其勧告ヲ支持センコトヲ希望シタリ本使ハ本件ニ関スル御請訓ヲ篤ト考究シ置キタルカ該決議案ガ意外ニモ委員會ノ報告ヲ單ニ各国政府及總會ニ回付スルニ至リタルヲ以テ此ノ際詳細ナル議論ヲ為スノ不適當ナルヲ思ヒ理事會ガ委員會報告ヲ是認スルハ強キニ過ギ政府ヲ拘束スル虞アリトノ理由ノ下ニ是認スル文字ヲ削除ス可シト提議シ一同ノ賛成ヲ得タリ

三、連第一四六号ニ関シ其ノ六(イ)項ニ関スル混成委員會ノ決定ヲ採用ス相互保障條約ニ関スル軍事委員會ノ報告ヲ各国ニ送付スルニ決ス又華府條約ノ諸原則普及ヲ目的トスル國際會議招集ノ件ハ次回ニ延期ス

四、埃及「モロッコ」「チュニス」ヲ關稅會議ニ招請スルニ決ス

ル為メ連盟事務局運轉資本ヨリ労働事務局ニ一〇二五〇〇

〇〇法貨与ノ件モ承認ス

十一、露國避難民ニ関スル高級委員ノ報告ヲ了承ス

十二、第六回保健委員會ノ報告ノ内(四)私財団ノ寄付金ニ関シ其使用計画ヲ立ツル為メ右財団ト交渉方医务部長ニ委嘱シ常設保健機關構成案ヲ是認シ之ヲ總會ニ付議スルニ決ス十三、連盟事務局員ノ任免表ヲ是認ス

十四、新渡戸博士及「アットリコ」氏ヲ Deputy Secretary General ニ陞任ノ件ハ仏國側ノ反対アリタル由ニテ有耶無耶ニ葬ラレタリ

二四二 七月十一日 在パリ松田連盟事務局局長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

石井理事、中国理事唐在復ト二十一力条問題

ニツキ会谈ノ件

連第一六七号

(七月十三日接受)

石井理事ヨリ

今回ノ理事会中本使ガ支那(脱)唐在復ニ対シ大要左ノ如キ懇談ヲ試ミタリ

日支兩國ハ第一回連盟總會以來相互提携シ来リタルガ若シ

五、「リツアニア」ノ少数民族保護ニ関スル声明批准ノ件ハ次回ニ延期シ「アルバニア」ノ少数民族保護ヲ目的トスル諸立法審査ノ件ハ次回ニ上程スルニ決ス

六、「ラトビア」ノ少数民族保護ニ関スル声明作成方ニ関シテハ同國ニ於テ違ニ國際的義務ヲ受諾スルヲ困難トスル事情アルニ依リ一先ツ交渉ヲ打切り少数民族ヨリ理事會ニ對スル請願出デタル場合ニ於テハ報道ヲ供給シ法律及事實ノ認定ニ関シ「ラトビア」政府ト理事會トノ間ニ紛議アル場合ニハ之ヲ國際司法裁判所ニ付託シ其意見ヲ求ムルコトヲ承諾ス可キ旨ノ「ラトビア」代表ノ声明ヲ是認スルニ於テハ理事會モ次回會議ニ之ニ承認ヲ与フ可キ旨決議ス

七、連盟ニ於テ波蘭少数民族保護條約第四条ノ問題ヲ取扱フノ權能アリヤ若シ有リトスレバ同條ノ精密ナル解釈如何ニ関シ國際司法裁判所ノ意見ヲ求ムルニ決ス

八、關稅會議及交通會議議長任命ノ件ハ次回ニ延期ス

九、交通委員會ノ其予算増額ニ関スル要求及國際司法裁判所判事ノ恩給制度ニ関スル連盟事務局ノ調査ヲ監督委員會ニ送付スルコトニ決ス

十、第三總會ノ決議ニ基キ労働事務局ノ建築ニ速ニ着手ス

第四總會ニテ万一ニモ支那ガ過般維納ニ開カレタル連盟協會連合會ニ於ケル如ク所謂二十一ヶ条問題ヲ提起スルコトアラバ我方ハ已ムヲ得ズ何処迄モ力爭セザルヲ得ザル可ク其ノ場合ニ於テ歐米人ハ面白キ奇劇トシテ之ヲ見物スルナランモ偕而支那ハ如何ト見レバ出来ナイ相談ヲ打懸ケテ目的ヲ達セザル外ニ連盟役員選舉ヲ初メ事毎ニ日本及其ノ与國ノ反対ヲ受ケ意外ノ難境ニ陥ルノ外ナカル可シ右ハ日支爭議ノ到着点ニシテ其ノ結果各國殊ニ支那ニ大不利ヲ来タスハ明カナリ加之斯カル事態ヲ起スト否トハ一ニ支那ノ方寸ニ係ル云々、之ニ對シ唐氏ハ来ル總會ノ支那代表主席ハ多分陸徵祥ナランモ彼ハ恐ラク欠席スベク自然自分ガ事實上主席代表トナルモ二十一ヶ条問題ヲ起スガ如キ百害有リテ一利ナキ愚挙ハ夢想ダモセザル処ナリ否日支兩國ハ第一回以來ノ提携ヲ繼續スルコト兩國協同ノ利益ナルハ自分ノ確信スル処ナリト云ヘリ右ハ彼ノ意中ヲ正直ニ吐露セルモノト本使ハ見タルモ何シロ相手ガ支那ノコトナレバ我方ハ同問題ガ提起セラルルモノトシテ準備スル必要アリ右ニ付当方多少腹案アレドモ尚左ノ三点ニ関スル調書其ノ他必要材料ヲ早目ニ送ラレ且何分ノ御訓示アリタシ

- (一)支那政府ニ於テ事実上ノ行為ニ依リ大正四年ノ日支條約ヲ確認シタリト見做シ得ル事例アラバ其ノ概要
- (二)支那政府ガ憲法上国会ノ同意ヲ要スベキニ拘ラズ之ヲ得ズシテ行ヒシ國際取極又ハ宣戰等ニ付最近ノ事例アラバ

其ノ概要

(三)大正四年日支條約ノ批准ニ際シ国会ノ同意ヲ取付ケザリシ理由

事項五 第四回國際連盟總會關係

二四三

五月七日

在パリ松田連盟事務局長ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

第四回連盟總會議題通報ノ件

連第八五号

(五月八日接受)

理事会議長「ウッド」氏ノ名ニ於テ九月三日午前十一時第四回連盟總會ヲ寿府ニ召集スル旨事務総長ヨリ通牒ニ接シタリ其ノ議題左ノ如シ

- 一、全権委任状審査報告委員ノ選舉
- 二、議長選舉
- 三、議事日程ノ審査及採択
- 四、諸委員會ノ任命及其ノ議長選舉
- 五、副議長六名ノ選舉
- 六、理事会及事務局ノ事業並總會決議ノ実行ニ関スル報告
- 七、軍備縮小第三總會ノ訓令遂行ノ為取リタル措置ニ関スル混成委員會ノ報告
- 八、奴隸問題
- 九、規約第十条改正(加奈陀ノ提案)

- 一〇、新事業費ニ関スル連盟理事会及労働理事会ノ報告
- 一一、恩給制度案
- 一二、財政經濟委員會ノ事業
- 一三、交通委員會ノ事業
- 一四、保健委員會ノ事業(伝染病委員會ヲ含ム)
- 一五、阿片委員會ノ報告
- 一六、婦人児童売買ニ関スル委員會ノ事業
- 一七、避難民問題ニ関スル高級委員ノ報告
- 一八、知的協力ニ関スル委員會ノ事業
- 一九、連盟費用分担
- 二〇、國際司法裁判所裁判官故「ルイ・バルボサ」ノ補欠選舉
- 二一、連盟總會ノ總會議ニ於ケル予算採択手續
- 二二、「エストニア」ニ於ケル少数民族ノ保護
- 二三、「リスアニア」政府ノ總會ニ対スル請求
- a、一九二二年一月十三日付理事会決議
- b、國際司法裁判所ノ意見ヲ求メンカ為二三ノ問題ヲ之